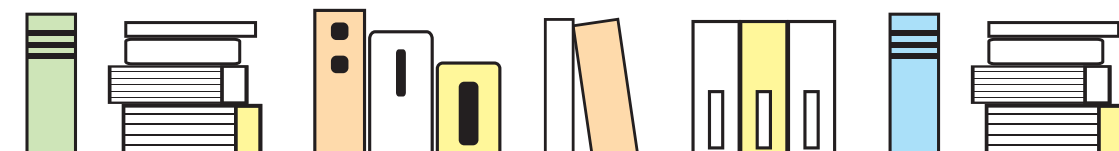
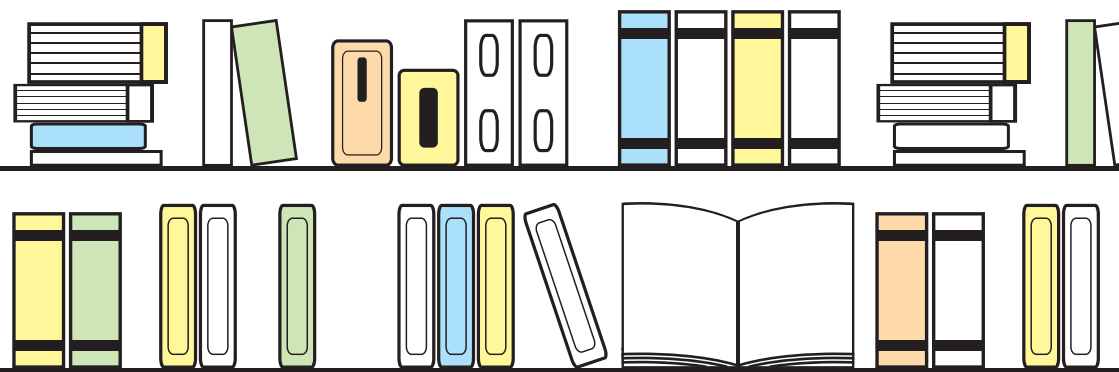


教養教育研究院の教員が新入生におすすめする100冊  
2026



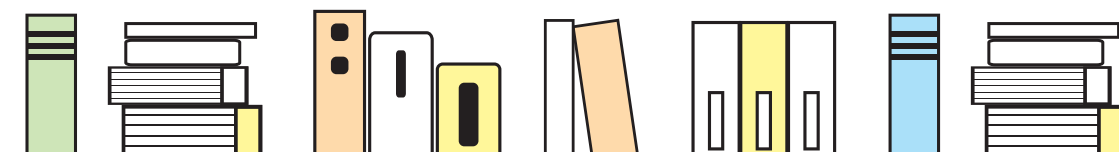


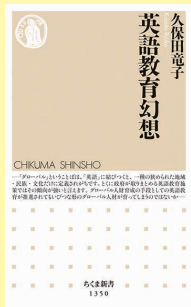
## 教養教育研究院の教員が新入生におすすめする100冊

東京理科大学には教養教育研究院という部局があり、4つのキャンパスで教養教育を担っています。この冊子は、教養教育研究院に所属する専任教員が、新入生の皆さんに対して、是非読んでいただきたいおすすめの本を紹介するものです。教員それぞれの専門に引きつけた本や、かなり難しい本もあれば、教員の価値観や趣味がわかる本、軽いタッチの本もあります。おすすめしている教員たちの個性にも思いを馳せながら、ぜひ1冊でも2冊でも、実際に読んでみていただけたら幸いです。

多くの情報がインターネットから手に入る時代に、「読書なんて何の意味があるんだろう」と思う人もいるかもしれません。「今の時代に大事なものは、インプットよりもアウトプットでは？」という声もきっと上がることでしょう。そして、実はそういう気持ちは現代に限ったことではなく、例えばフランスの思想家ジャン＝ジャック・ルソーは、「本を読んだって、自分がよくわかってないことについて話せるようになるだけだ」と、読書に否定的とも取れる言葉を残しています。

でも、それでも私たちは、新入生のみなさんに読書をおすすめしたいと思います。その向こうにはきっと、「新しい何か」が待っていると信じているからです。





書籍名：英語教育幻想

著者名：久保田竜子

出版社名：筑摩書房

出版年：2018年

この本、私にとっては、とてもホラーな内容でした（理由は後述）。

筆者の久保田先生は、海外の大学で30年以上にわたり教鞭をとられている第一線の言語教育学者です。その先生が本書の中で、「グローバル人材には英語は必須」という日本人がなぜか共有している発想が国際的に見たら偏った「幻想」であることを、学者らしくエビデンスに基づきながら論証していきます。しかも、世界を股にかけて活躍の先生が仰っているだけに、めちゃくちゃ説得力があります。

読後、思っきり考えさせられました。どうして皆が同じ幻想（目的）に取り憑かれているのだろうか。本来は一人一人違っていいはずなのに。結局、選別されるために学ばされていることへの目逸らしなんじゃないか（ここにきて背筋がゾツとしたわけです）。でも今からでも遅くない、いやむしろこれからが大事。自分にとって、なぜ英語が必要なのか、どのような英語が必要なのか、考えながら学んでいきたい。そう、ここからが本当の英語学習の始まりです。



所属：神楽坂キャンパス教養部

氏名：石崎 貴士

専門：外国語教育



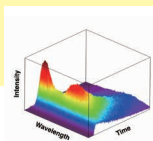
書籍名：ウノを見破る統計学：退屈させない統計入門

著者名：神永正博

出版社名：講談社

出版年：2011年

大学生になるとこれまで以上に様々なデータを目にする機会が増えます。また、研究を通してデータを計測する機会にも恵まれます。この時のデータは、本来知りたいと思っている集団全体からランダムに選ばれたものであり、集団全体の特性を推測するためには統計学の知識が必要となります。本書では、まず、平均値や中央値、分散・標準偏差、正規分布といった統計学で必須となる基本的な知識を取り上げつつ、その背後に隠されている考え方に触れています。次に、統計学の代表的な手法の中から、比較よく利用される「検定」と「回帰分析」を取り上げています。最後に、応用事項として社会や経済の問題を取り上げ、それらをクリアに考えたい時に、数学がベースである統計学がヒントになることに触れています。身近な話題を題材に、難解な数式をほとんど使わずシミュレーションと図解で説明されており、統計学の基本を押さえるのに最適な内容になっています。



所属：神楽坂キャンパス教養部

氏名：植野 嘉文

専門：生物物理



書籍名 : カフェ・シエヘラザード

著者名 : アーノルド・ゼイブル

出版社名 : 共和国

出版年 : 2020 年

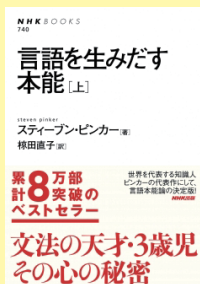
読みながら、「まるで音楽を聴いているようだ」と感じる本というのが、あると思いませんか？ 私は、このオーストラリアの現代作家の代表作を原語で読んで、最初の数ページ目からずっと、そう感じていました。中身はポーランドのユダヤ難民たちの話なのですが（一部、日本の神戸にも関係しています）、この本の主役は「音」だと思う。自分で訳した本を、このような場で「推薦」するのは烏滸がましいとも思ったのですが、訳しながら、「これは理科大生の皆さんにも読んで欲しいなあ」と感じていましたので、あえて選びます。インターネットとSNSの発達により、ついに私たちは、寝ているとき以外、常に誰かと繋がっており、決して「ひとり」になれない時代を生きるようになってしまいました。でも、このコロナ禍で、人と会えない日々が長引くなか、逆に「ひとり」で、ただ一冊の本とともに、じっと過ごす時間の大切さを思い出してみるのはどうでしょう。情報を得るためではなく、ただ音楽を聴くかのように。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 菅野 賢治

専 門 : フランス語・ユダヤ研究



書籍名 : 言語を生み出す本能

著者名 : スティーブン・ピンカー

出版社名 : NHK 出版

出版年 : 1995 年

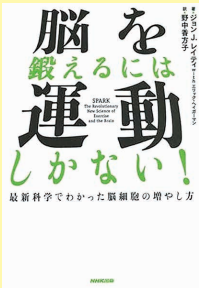
「人間はなぜ言語を話せるのか？」この問題に答えてくれる世界的ベストセラーの名著。言語学・英語学の知識を全く持たない読者のために書かれ、興味深い具体例が豊富に詰め込まれています。言語の不思議を理解するのに最高の一冊です。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 菅野 悟

専 門 : 英語学



書籍名 : 脳を鍛えるには運動しかない!最新科学でわかった脳細胞の増やし方  
 著者名 : ジョンJ.レイティ (著)、エリックヘイガーマン (著)、野中香方子 (翻訳)  
 出版社名 : NHK 出版  
 出版年 : 2009 年

本書は、身体や心だけでなく運動がいかに脳にポジティブな影響を及ぼすかを、科学的根拠、客観的データに基づいて解説しており、非常に説得力が高い1冊である。最近は、「運動のしすぎは身体に良くない」といった言説を理由に、便利な世の中になったことで殆ど身体を動かさなくても生活が出来てしまう現状を、何とか肯定しようと「運動しない理由」を求めている学生が少なからず存在するが、本書は、運動が単なる体力向上の手段ではなく、有酸素運動を授業前に行うだけで学力や集中力が劇的に向上した事例なども紹介されており、運動によって脳機能を効果的に高めることで、如何に人生が豊かになるか、運動へのモチベーションを高めてくれる1冊になっている。これから運動を始めたいという学生、または健康や教育に関心のある学生にはお勧めの1冊である。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部  
 氏 名 : 北林 保  
 専 門 : スポーツ科学



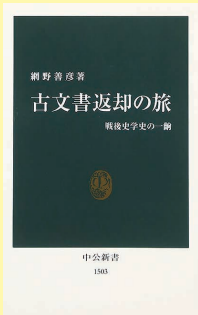
書籍名 : NHK 大河ドラマ・ガイド 豊臣兄弟! 前編  
 著者名 : NHK 出版編  
 出版社名 : NHK 出版  
 出版年 : 2026 年

2026年の大河ドラマ『豊臣兄弟!』は、群雄割拠の時代にあつて全国平定を果たす豊臣秀吉を支え続けた賢弟・豊臣秀長の生涯を中心に、織田家や徳川家の一族・家臣団も含め、当時の彼らを取り巻く人びとのすがたを、史実を踏まえて克明に描いています。このガイドブックに当たる本書は、近畿の広範囲に及ぶ秀長ゆかりの地に関する紹介記事があります。特に「大和大納言」と称される由来となった奈良県大和郡山形には、秀長が大改修を行い居城とした郡山城跡があり、その天守台の石垣には、平城京・羅城門の礎石や、各地の石塔・石仏などを転用していたことに詳しく触れています。社会的地位の変化を緻密に反映した衣装や武器の解説もあり、秀長の足跡を、体感的に楽しむことができます。

なお、東京都江戸東京博物館では、「NHK大河ドラマ 特別展 豊臣兄弟!」を開催します(会期:2026年9月15日~11月8日)。この3月31日にリニューアルオープンした同館には、明治期における銀座の代表的建築物・服部時計店(現・和光本店)の原寸大模型も新たに展示されています。ぜひ、訪れてみましょう。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部  
 氏 名 : 小林 真美  
 専 門 : 日本文学・日本語学



書籍名 : 古文書返却の旅—戦後史学史の一韻

著者名 : 網野善彦

出版社名 : 中央公論新社

出版年 : 1999 年

映画「もののけ姫」にも影響を与えた著名な日本史学者、網野善彦による回顧録です。

第二次大戦後、日本全国の漁村から古文書を集めて調査を行う研究所が組織されました。青年・網野も研究員の一人となり、各地を訪れ古文書を借用してまわります。しかし、わずか数年で事業は頓挫し、研究員たちは散り散りとなって、大量の貴重な古文書だけが返却されないまま残されてしまいました。

それから 25 年、網野は強い「義務」の意識から、古文書返却の旅を始めます。それは所有者に対する贖罪の旅であり、過去の自身の行動と向き合う旅でもありました。その過程で、網野は古文書に描かれた漁民たちの様々な生活を知り、従来の農業中心の日本史像を根本から問い直していくことになります。

自身の「失敗」を回顧する網野の語りは厳しく、研究に関わる全ての人たちに対して、研究倫理の重要性を問いかけていていると思います。これから大学で学び、研究の世界に身を投じていく皆さんに、ぜひ読んでいただきたい一冊です！



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 神野 潔

専 門 : 基礎法学



書籍名 : Brave New World

著者名 : Aldous Huxley

出版社名 : Penguin

出版年 : 2020 年

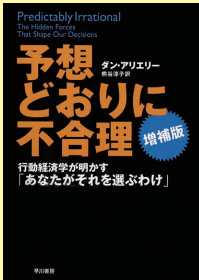
Many people have read, or at least heard of George Orwell's book *1984*. Slightly less well known however, is Aldous Huxley's *Brave New World*. While both books are about a nightmarish dystopian future, there is a key difference. While *1984* is all about a society ruled by extreme control and power, *Brave New World* is a book about a society built upon scientific advancement, rationality, and pleasure. In the book, society is strictly ordered in a seemingly rational and logical way. Humans are artificially 'produced' through genetic manipulation and then ordered into higher or lower places in society. The members of the society are regularly medicated with a drug called 'soma' which keeps them happy and content. The story follows the journey of Bernard Marx, a man born into the 'alpha' top level of society. Later in the story he travels outside to other societies and begins to doubt and question the logic, rationality, and legitimacy of this own world. *Brave New World* is fantastic book to read, especially as many of the issues Huxley raised in this book have become important in our world now – mass-entertainment, drugs and medicine, and a society controlled not by brute force, but by scientific rationality and pleasure.



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : William Simpson

専 門 : Foreign language



書籍名 : 予想どおりに不合理 [増補版] —行動経済学が明かす「あなたがそれを選ぶわけ」—  
 著者名 : ダン・アリエリー (熊谷淳子訳)  
 出版社名: 早川書房  
 出版年 : 2010年

私たちは自分の選択を「合理的」と思いがちですが、実際には価格の見せ方、比較対象、先入観といった小さな仕掛けに驚くほど左右されます。本書は、ゼロコストの誘惑、アンカリング、プラセボ効果、社会規範と市場規範、正直さの限界、サンクコストの影響などを巧みな実験と具体例で示し、「なぜそれを選ぶのか」を可視化した「行動経済学の入門書」です。数多くの実験室実験（統制実験）の事例が、研究計画におけるリサーチクエスチョンや仮説の立て方の参考になります。人間の考え方のクセは、データ解釈を歪め、UX・安全設計、ターゲット広告等を通じて行動変容をもたらします。本書に示された知見は、消費行動の背景理解のために一自分がマーケティング施策の誘導や認知バイアスに「操作されない」ための知的ワクチンとしても有効です。読み終わったら、最近の自分の選択の一つ思い出して、合理的だったか検証してみてください（電子版・文庫版あり）。



所 属: 神楽坂キャンパス教養部  
 氏 名: 鈴木 公明  
 専 門: 知的財産・イノベーション



書籍名 : 子どもとお金—おこづかいの文化発達心理学  
 著者名 : 高橋登・山本登志哉 (共編)  
 出版社名: 東京大学出版会  
 出版年 : 2016年

人は、子どものとき、親からお小遣いをもらったり、友だち同士おごりあったり、友だち同士お金を貸し借りしながら、お金の使い方を学んできました。

この文章に違和感を持つ人はいますか？ アジアの多くの人がこの文章に「そうだろう」と思うかもしれない。しかし、ひょっとして、あなたは「いや違う」と思うかもしれません。

「友だち同士のおごりあい」や「親子間のお小遣いのやりとり」など、身近な人とのお金のやりとりは、(市場経済原理に基づくお金の往来とは異なり)文化によって実に多様であることが、「子どもとお金」プロジェクトにより明らかにされました。

この本には、プロジェクトメンバーである日本、中国、韓国、ベトナムの研究者たちが(実は私もメンバーの一人でした)、ハノイ、ソウル、吉林省や北京などに出向き、屋台や売店で買い物をする子どもたちや家庭訪問先の親子へのインタビューを通して、他国の子どものお金の使い方が自国のそれとは大きく違うことに気づき、驚き、言語化し、対話していく、そのプロセスが生き生きと記されています。

私たちが「当然」と思っていることの多くは、特定の文化の中で刷り込まれたものに過ぎません。そのことを理解した上で、異文化の人と出会い語り合ったりした時、世界はたくさん驚きと発見で満たされていることに気づくことができます。この本はそのような気づきをあなたにもたらすでしょう。



所 属: 神楽坂キャンパス教養部  
 氏 名: 竹尾 和子  
 専 門: 教育臨床心理学



### 書籍名 : モナ・リザのニスを剥ぐ

著者名 : ポール・サン・ブリス (著)、吉田洋之 (訳)

出版社名 : 新潮社

出版年 : 2024 年

私たちが美術館で目にする絵画は、必ずしも制作当時の姿がそのまま保たれているわけではありません。時間の経過とともに絵画の表面を覆うニスは変色し、修復や補筆が重ねられ、作品の表情は少しずつ変わっていきます。こうした状況において、作品の「本来の姿」とは、どのようなものと考えるべきでしょうか。

決して失敗の許されない《モナ・リザ》の修復プロジェクトを主軸とするこの物語は、科学技術の発展、保存と公開のあいだの緊張関係、社会からの期待や批判といった、現代の美術館を取り巻くテーマを同時に浮かび上がらせてます。修復に携わる専門家たちの葛藤や決断を通して、美術作品は単なる過去の遺産ではなく、常に現在と関わり続ける存在であることが伝わってくるでしょう。美術館の舞台裏を覗くことができるだけでなく、芸術と科学の繋がりについても考える機会を提供してくれる一冊です。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 竹本 芽依

専 門 : 西洋美術史



### 書籍名 : エッセンシャル思考 最少の時間で成果を最大にする

著者名 : グレグ マキューン (著)、高橋 璃子 (翻訳)

出版社名 : かんき出版

出版年 : 2014 年

“Essential”というのは、「本当に大事なこと」という意味です。タイトルにもある「エッセンシャル思考」とは、「自分が大事にしたい“価値”を明確にし、“その価値を守れるかどうか”を行動の基準とすること」だと私は理解しています。この本を読む前の私は、家事・育児など家族のこと、授業・研究など仕事のこと、自分の趣味、など色々な種類のTODOが渦を巻いて襲ってきて、エネルギーの使い方が分からず疲弊していました。本を読んでからは、何が行動する前に「自分自身にとって」もしくは「自分の人生を自分らしく生きる上で」何が一番重要か、何を一番大切にしたいか、を再認識して状況を俯瞰し、整理するようにしています。受験対策っぽい言葉を使えば、「問題文をよく読む」です。大学に入学した今、大学でやりたいこと、卒業したらやりたいこと、本当は必要なのに「やらなければならない」と思い込んでいること…など、皆さんのTODOリストは今までないほどに膨れ上がっているかもしれません。この本を読むことで、自分は何が一番時間とエネルギーを割きたいのか、考えるきっかけになり、自分にとって価値のある力の使い方のヒントになれば嬉しいです。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 渡丸 嘉菜子

専 門 : 言語学、音声学



書籍名：植物の形には意味がある

著者名：園池公毅

出版社名：KADOKAWA／角川ソフィア文庫

出版年：2022年

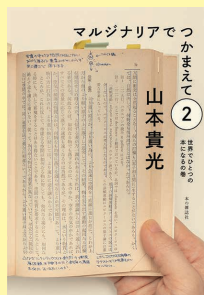
植物は動かない——多くの人がそう思っていますが、実はその世界は驚くほどダイナミックです。光をつかむために葉をひねり、風に耐えるために茎を強め、限られた環境を最大限に生き抜く。その形のひとつひとつに、驚くほど巧みな戦略が隠れています。移動できないという制約こそが、植物に類まれな環境適応能力を育ててきました。園池公毅著『植物の形には意味がある』は、そんな植物たちの“形の物語”を、平易な言葉と鋭い科学的視点で解き明かしてくれる一冊です。葉の並び方や茎の伸びる角度、光をとらえるための構造など、どれもが「機能は構造にやどる」という原則に従って作られています。読み進めるほど、身近にあったはずの植物がまるで別の生き物のように見えてくる——そんな発見の連続が味わえます。自然科学の入り口に立つ新入生にこそ、最初の一冊として手に取ってほしい本です。日常の風景が、きっと少しスリリングに変わるはずです。



所 属：神楽坂キャンパス教養部

氏 名：鞆 達也

専 門：光合成科学



書籍名：マルジナリアでつかまえて②

著者名：山本貴光

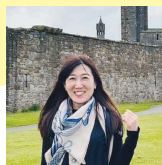
出版社名：本の雑誌社

出版年：2022年

マルジナリアとは、読者が書物の余白（マージン）に残したメモ、註解、記号や絵など読書の「痕跡」のことを言います。

本書は、夏目漱石からフェルマーまで、古今東西あらゆる時代の読者が残したマルジナリアに注目し、それぞれの読者がどのように書物と向き合ったのかを紹介するシリーズの2作目です（本書には東京理科大学の蔵書への言及もあります）。

著者自身も「ペンを持たぬと本が読めぬ」と言うほどに大量の「書き込みをする読者」で、傍線をひいた上にマーカーをひき、余白にぎっしりメモを書き込み、目次を拡張し、巻末には勝手に索引を作成するといった具合です。本書で紹介されるさまざまな「魔改造」された書物を見ると、読書とはきわめて能動的な行為であり、書物のページには著者と読者、また読者同士のさまざまな対話が存在していることを実感します。本書を通して、皆さんが新たな書物との向き合い方を追いかけてくださると嬉しいです（でもやっぱり、図書館の本には書き込まないでね!!）。



所 属：神楽坂キャンパス教養部

氏 名：張替 涼子

専 門：近世スコットランド文学・書物学



書籍名 : 日本思想史新論: プラグマティズムからナショナリズムへ (ちくま新書 946)  
著者名 : 中野剛志  
出版社名 : 筑摩書房  
出版年 : 2012 年

私が一緒に政策策定の仕事をした著者の中野氏は、経済産業省の現役の官僚でありながら、多くの書籍を通じ、ある意味、官僚らしくなく、日本の在るべき姿を提唱しています。中野氏は、グローバリゼーションを強力に推進するかと思いきや、現在の我が国の状況を予見できていたようです。同書の表紙には、伊藤仁斎や福沢諭吉の思想を読み解き、戦後日本を支配してきた開国物語の呪縛から解き放ち、日本の伝統的な実学主義を回復させ、健全な姿のナショナリズムを取り戻す旨が記載されています。グローバリゼーションが真っ盛り of 2012 年の発刊当時、同書は、世間一般にはピンとこなかったかもしれませんが、今こそ、日本国の国体やグローバリゼーションを振り返り、未来を思考するために役立つ思考が詰まっています。巷の喧伝や世界的なブームに踊らされることなく、批判的思考を持って冷静に観察して未来を思考する姿勢も学ぶことができるでしょう。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部  
氏 名 : 平塚 三好  
専 門 : 知的財産・人工知能



書籍名 : チェーホフ全集 全 12 巻セット  
著者名 : アントン・チェーホフ; 松下 裕 (翻訳)  
出版社名 : 筑摩書房  
出版年 : 1987 年～

ロシアの作家チェーホフは世界でよく知られている短編の名人です。短編なので、読みやすいのいいですが、深さがわかりにくい、という面もあります。チェーホフは類稀なアイロニーで人間の精神世界を繊細に解き明かし、最も短い短編にさえ、そこには人間の内的宇宙が立ち現れます。

彼は、社会と自分個人をとりまく絶望的な状況にもかかわらず、高い芸術性を持った詩情にあふれた作品を書き続けることができた天才です。普通は誰も気づかない、弱者の「傷つけられた心」というものを、実によく描いていて、それが読者の感動を誘うのです。

例えば、「カシタンカ」は犬の目を通して、人間世界が活写されていますが、単に風刺しているだけではなく、人間に共通の悩み(貧困、病気、死など)が一筆で見事に描かれていて、その詩心の豊かさに驚かされます。チェーホフの影響を受けた日本の作家は多いと思います(井伏鱒二など)。

人はしばしば、他者と向き合う中で己を知るものです。チェーホフ作品を読み、その登場人物の心と向き合うことは、きっと他者や己の心を知る助けとなるでしょう。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部  
氏 名 : Anna Bugaeva  
専 門 : 言語学



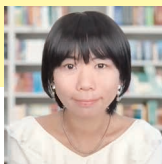
書籍名 : 歩いて学ぶ都市経済学

著者名 : 中島賢太郎/手島健介/山崎潤一

出版社名 : 日本評論社

出版年 : 2025 年

小学生の頃、近所のスーパーや商店にインタビューし、自分が住む町の成り立ちを調べた記憶はありませんか。本書は、そんな身近な街を題材に、社会を学問的に「科学」する技法を、平易な語り口でありながら本格的に紹介してくれます。お薦める理由は二つあります。第一に、科学というと自然科学を思い浮かべがちですが、家族や部活、街や国といった社会集団も同じように分析の対象になることに気づかせてくれる点です。皆さんが大学で学ぶ「科学」という方法の応用範囲の広さを実感できるでしょう。第二に、日常生活の中から「疑問」を見つける視点が養われることです。リンゴはなぜ落ちるのかという有名な問いが日常の風景から生まれたように、身近な違和感こそが科学を前に進めます。通学途中の何気ない場面から問いを見つけ、それをそのままにせず、自分の頭で考え、調べ、探究する力をぜひ大学時代に育ててほしいと思います。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 松本 朋子

専 門 : 計量政治学



## 青空文庫

書籍名 :

著者名 :

日本の名作小説や詩歌、古典など、著作権が切れた作品を誰でも無料で読めるようにしたオンライン図書館。ボランティアの方々の支援によりデジタル化された大切な文化遺産に、時代や場所を問わずアクセスできます。現在 15,000 点以上の作品が公開されており、スマートフォンやタブレットがあれば、誰でも気軽に読書を楽しめます。また、絶版になった作品や書店で手に入りにくい名作も多く含まれているため、世代を超えて受け継がれる貴重な文学作品として、多くの人々に親しまれています。

夏目漱石や芥川龍之介など、近代文学を代表する作家の作品に気軽に触れられるだけでなく、環境にも優しいのも魅力の一つです。読書が苦手な人でも、短編や詩などから始めれば、ちょっとした隙間時間に楽しむことができます。そうした柔軟な読書スタイルをサポートしてくれる青空文庫は、まさに現代ならではの「読む自由」を体現する存在といえるでしょう。ぜひ、サイトを訪れて、時代を超えて愛される作品の中から、自分だけのお気に入りを見つけてみてください。

URL (青空文庫) : <https://www.aozora.gr.jp/>

URL (本の未来基金) : <https://honnomirai.net/>



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 宮添 輝美

専 門 : 応用言語学 /iCALL



書籍名 : アスリートのメンタルは強いのか？

著者名 : 荒井弘和 (編)

出版社名 : 晶文社

出版年 : 2020 年

「アスリートのメンタルは強い」 ー皆さんはそう思っていませんか？

実際、アスリートは競技の結果や怪我によってその後の人生が大きく左右されるため、常に多大なストレスを抱えています。世間が抱くイメージとは裏腹に、その精神面は非常に繊細です。国際オリンピック委員会 (IOC) でもメンタルヘルスは重大な課題とされ、様々な支援が議論されています。

本書は、私たちが抱きがちな「アスリート＝精神的に強い」という固定観念を、科学的エビデンスに基づいて問い直す一冊です。また、複数の専門家が執筆するオムニバス形式で構成されており、アスリートのメンタルに非常に多角的な視点からその実態に切り込んでいます。

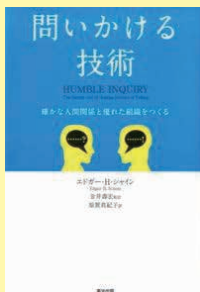
スポーツが好きなお人ももちろん、日常生活で悩みやプレッシャーを抱えた人にも助けになり、とても参考になる内容だと思います。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 村上 貴聡

専 門 : スポーツ心理学



書籍名 : 問いかける技術：確かな人間関係と優れた組織をつくる

著者名 : エドガー・H・シャイン (金井壽宏 監訳/原賀真紀子 訳)

出版社名 : 英治出版

出版年 : 2014 年

新たに出会う人々や物事との「関係づくり」がいまひとつ苦手、という方はいらっしゃいませんか。もしそうでしたら、こちらの本をおすすめします。

大学では新たな出会いがみなさんを待ち構えています。新たな人々、学問、テーマ、生きがいと出会い、未永く良好な関係を築いていきたいものですね。

本書では、米国の著名な心理学者が身近な例をたくさん挙げながら、良い関係を築き発展させる方法を平易に解説しています。その方法とは、謙虚に問いかけること (humble inquiry) です。本書で学べるのは、問いかけの分類、謙虚に問いかけることの機能、問いかける際の米国や本邦での暗黙のルール、謙虚な問いかけを実践するための具体的な方法、などです。

いま、新たな人々や物事がみなさんを待ち構えています。思いがけない出会いを大事にするため、本書を読んで良い関係を築くためのスキルを意識的に学修しておきましょう。



所 属 : 神楽坂キャンパス教養部

氏 名 : 森田 泰介

専 門 : 認知心理学



書籍名：成瀬は天下を取りに行く

著者名：宮島未奈

出版社名：新潮社

出版年：2023年

主人公の成瀬あかりは滋賀県大津市在住の中学生。一言でいうと「ひたすらにわが道を行く人間」。その行動が周囲を驚かせることは日常茶飯事であり、関わった人々が振り回されることもしばしばである。けれど成瀬と出会った人たちの人生は、少しだけ明るいものになる。彼女が決して自己中心的な人物ではなく、自分の身近な世界が少しでも豊かになるよう、全力を尽くすことができるからだ。周りがどう思おうと、物事を真つすぐに捉え、目の前の課題に真正面からぶつかる。簡単に見えて実はとても難しい。まして、こうした生き方を貫くことは至難の業である。でも、ひたむきに生きることでしか得られない輝きは、確かに存在するのだ。爽やかな読後感と共に、本書はそのことを教えてくれる。成瀬の姿を見れば感じ取るはずだ。効率や世間体ばかりを気にして立ち回るより、自分の信じた道を邁進する方が、人生ははるかに実り多きものになることを。新入生諸君には、ぜひとも本書を手に取り、成瀬が持つ「無敵の真摯さ」を体感してほしい。



所 属：神楽坂キャンパス教養部

氏 名：山中 聡

専 門：ヨーロッパ近代史



書籍名：人間の土地

著者名：サン＝テグジュベリ

出版社名：新潮社

出版年：1955年

アントワヌ・ド・サン＝テグジュベリは『星の王子さま』の作者として有名ですが、郵便郵送から第二次大戦期の偵察飛行まで生涯を通じて飛行士としても活躍しました。本書でサン＝テグジュベリは飛行士としてサハラ砂漠に不時着し仲間と僅かに食糧を分かち合い、最後にベドウィン族に助けられて生き延びた実体験を基に、人間とは何かを語ります。そして、極限状態でも人を「僚友」として尊び、相手に対する責任を果たそうとし、そうすることによるこびを覚えた経験に人間の本質を見出し、「真の贅沢」を「人間関係の贅沢」だと主張します。本書は、今後の生き方について悩むだろう大学生のみなさんに多くの示唆を与えてくれると思います。

本書はサン＝テグジュベリの文章の美しさを堀口大學が再現しようと試み、宮崎駿による装丁・解説で彩られた素晴らしい版ですが、文体の古さが気になる人には渋谷豊記『人間の大地』（光文社、2015年）がおすすめです。



所 属：神楽坂キャンパス教養部

氏 名：杉山 ゆき

専 門：英文学



書籍名：詩のころを讀む

著者名：茨木のり子

出版社名：岩波書店（岩波ジュニア新書）

出版年：1979年

二十代後半になってはじめて読みましたが、年を経た後も、折に触れて読み直したくなる本の一つです。「生まれて」、「恋歌」、「生きるじたばた」、「峠」、「別れ」という章立てで、人生のさまざまな局面をうたった詩を集めたアンソロジーです。ひとつひとつの詩を、愛情をこめて丁寧に紹介する著者の感性のしなやかさはもちろん、添えられた写真や絵もすばらしく、小さいながらとても美しい本です。そのうちの一つの詩――

助言

ラングストン・ヒューズ（木島 始・訳）

みんな、云々とくがな、  
生れるってな、つらいし  
死ぬってな、みすばらしいよ――  
んだから、掴まえるよ  
ちっとばかり 愛するってのを  
その間にな。



所 属：野田キャンパス教養部

氏 名：浅井 英樹

専 門：ドイツ文学



書籍名：差別の哲学入門（シリーズ・思考の道先案内1）

著者名：池田喬・堀田義太郎

出版社名：アルパカ

出版年：2021年

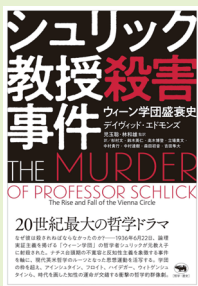
カテゴリC科目の「心理学と社会」で、ジェンダーや障害科学の話をしたら、学生さんからはこんな反応がありました。「性役割は男女の身体的違いに基づいた合理的な思想だと思う」「差別じゃなくて区別です」「友達が障害者でも、友達は友達だから、障害があることは考慮しないで接する」…。差別だなんて騒ぎ立てずに、区別、個性、あるいは個人の外側にある属性としてみなせば問題ないのでしょうか？一方で、人種差別のような歴史があるものはどうやってなくせるのでしょうか？いや、そもそも差別があるとかないとか、誰がどう決めてるの…など大人になる前に一度考えてみませんか。この本は平易な言葉で対話するように書かれていて読みやすく、そのうえ、些細な問題意識も取りこぼさず説明してくれている、めっちゃくちゃいい本です！※注 野田キャンパス教養部の堀田先生のご著書です。関心をもったらぜひ堀田先生の講義も受講してみよう！



所 属：野田キャンパス教養部

氏 名：市川 寛子

専 門：実験心理学



書籍名 : シュリック教授殺害事件—ウィーン学団盛衰史  
 著者名 : デヴィッド・エドモンズ著、児玉聡・林和雄監訳  
 出版社名 : 晶文社  
 出版年 : 2025 年

紙の本が好きです。特に分厚い紙の本を手にとったときの何とも言えない心地よさと読み終わった後の達成感、オンライン上で論文や書籍を読むのが当たり前になった時代になっても捨てがたいものがあります（と前時代的な私は思っています）。その点、この600頁近い大著は手に取ってよし、読み終わっても大満足の1冊だと言えるでしょう！20世紀初頭、数学や科学と哲学を意欲的に結びつけようとしたウィーン学団と呼ばれる研究者の集まりがありました。伝統的な哲学に抗い、論理的・経験的に語れない事柄を無意味と切り捨てる彼らの考えに、なぜ人々は魅了され、そして、なぜその熱は醒めていったのでしょうか。1920～30年代の戦争の匂いが拭えないオーストリアという国から、彼らの様な思想が誕生し、やがて世界に広がっていくその群像劇を、本書は時にユーモアにあふれる筆致で紡ぎだしてくれています。その過程でウィーン学団の中心人物の一人、モーリッツ・シュリック教授は、なぜあの時、教え子でもあったネルベックの凶弾に倒れなくてはいけなかったのか。アインシュタインやマッハ、ゲーデルといった皆さんも聞いたことのある科学者や数学者も多数登場することも含め、哲学になじみがなくとも楽しめる1冊になっています。



所 属 : 野田キャンパス教養部  
 氏 名 : 伊吹 友秀  
 専 門 : 生命倫理学



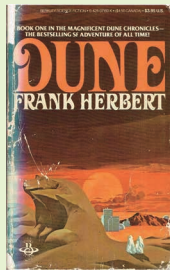
書籍名 : 人類の起源—古代DNAが語るホモ・サピエンスの「大いなる旅」  
 著者名 : 篠田謙一  
 出版社名 : 中央公論新社（中公新書）  
 出版年 : 2022 年

本書は、近年急速に発展した古代DNA研究の成果をもとに、人類がどこから来て、どのように拡散し、現在の私たちに至ったのかを解説した一冊である。従来人類史像は、考古学や形質人類学を中心に描かれてきたが、本書は分子生物学という新たな視点から、人類の移動や混血、適応の歴史を描き出している。科学技術の進歩が、私たちの人類観や歴史認識そのものを書き換えてきた過程が、具体的な研究成果とともに示されている点も、本書の大きな特徴である。

とりわけ、「人種」や「民族」といった概念が、科学的にはきわめて相対的なものであることを示す点は、現代社会を生きる私たちに重要な示唆を与える。専門的知識を前提とせず、科学が人類観や世界観をどのように更新してきたのかを理解できる本書は、新入生が大学での学びを始めるにあたり、教養的視野を広げるきっかけとなる一冊である。



所 属 : 野田キャンパス教養部  
 氏 名 : 汪 義翔  
 専 門 : 中国語、中国古代文明研究



書籍名 : DUNE

著者名 : Frank Herbert

出版社名 : English: Ace Books / Japanese Hayakawa Shobō

出版年 : 1965年 / 1972年

The book that I would recommend to anyone interested in transforming his or her mind, is not just one book, but a six-volume series of science fiction novels called DUNE. In short, they tell the story of Paul Atreides and his son, Leto II's, 3000+year life and reign. The books include themes of sociology, religion, politics, military strategy, diplomacy, statecraft, and conspiracy, as well as technology, climate change, ecology, evolution and the economics of interstellar navigation. Frank Herbert's gigantic mind weaves these themes masterfully into a fully-imagined world. Beyond that, however, is Herbert's use of the literary device of internal monologue, and this is my main reason for recommending DUNE. As the characters in the complex, treacherous, multi-layered world of DUNE plan, plot and conspire, Herbert not only narrates their speech and actions, but also reveals to the reader the machinations of their secret and hidden thoughts. These often extended monologues often resemble the inner thoughts of chess players planning their next seven moves and when I was a university student, they played a large role in training me to think logically and methodically. Moreover, I developed a meta- awareness of my own internal monologues as a result of reading these books. In addition, I also began to be constantly mindful that other people were also having these internal monologues even if they, themselves, were not always aware of them. These are not short books, and depending on your English level, I think they do not lose their impact in translation.



所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : ガン デイヴィッド

専 門 : English



書籍名 : アルケミスト 夢を旅した少年

著者名 : パウロ・コエーリョ 翻訳 : 山川紘矢、山川亜希子

出版社名 : KADOKAWA

出版年 : 1997年

人生の転機にあるときに読むと勇気づけられるかもしれませんし、単純に物語の世界に浸りきって旅を楽しむのも良いと思います。世界中でとてもよく知られていて、たくさんの方が所感をあちこちで発信している作品です。なので、私も今もう一度読み返してみ、気に入っている箇所をいくつか抜粋します。

「彼は、勇気をふりしぼって、自分は神父にはなりたくない、自分は旅がしたいのです、と父親に言った。…少年は父親の目の中に、自分も世界を旅したいという望みがあるのを見た。それは、何十年の間、飲み水と食べるものと、每晚眠るための一軒の家を確保するために深くしまい込まれていたものの、今もまだ捨てきれずにいる望みだった。」

『幸福の秘密とは、世界のすべてのすばらしさを味わい、しかもスプーンの油を忘れないことだよ。』

『もし、わしがおまえに話していたら、おまえはピラミッドを見なかったことだろう。ピラミッドは美しくなかったかね?』



所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : 斎藤 明宏

専 門 : 外国語教育



書籍名 : BIG THINGS どデカイことを成し遂げたヤツらはなにをしたのか?

著者名 : ベント・フリウビヤ & ダン・ガードナー

出版社名 : サンマーク出版

出版年 : 2024 年

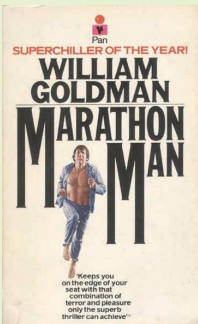
「失敗してもいいからやってみよう！」という精神は前向きで魅力的です（実際、大事です！）。しかし、この前向きな姿勢が時に破滅的な結果を招きかねません。著者の研究によれば、大規模な建築、DX化、イベントなどの巨大事業で予算・工期・便益の目標すべてをクリアできたものは0.5%しかなく、大失敗も多いそうです。失敗の主因は、「すばやく考えて（性急な着工）、ゆっくり動く（試行錯誤による遅延）」にあります。成功するには真逆の原則「ゆっくり考えて、すばやく動く」が重要です。「ゆっくり考える」では、徹底的なリスク検証とデータ活用により、計画段階での不確実性や失敗要因を排除します。「すばやく動く」では、実行段階での変更を避け、最短距離で事業を完了させます。巨大事業の修正費用は計画段階では安く、着工後は非常に高くなります。本書は「とにかくやってみよう」という無謀な挑戦を戒め、**変更費用の安い段階で試行錯誤すべき**という経済学の基本原理の重要性を認識させてくれる良書です。



所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : 坂本 徳仁

専 門 : 経済学



書籍名 : Marathon Man

著者名 : William Goldman

出版社名 : Pan

出版年 : 1976 年

Have you ever wondered what people are thinking about as they run? It could be they are imagining themselves to be a famous Olympian Gold Medal Winner. That is what PhD student Thomas “Babe” Levy is thinking as he is running around the lake in Central Park, New York City in 1976. Babe meets and begins to date Elsa Opel, a foreign exchange student. While out for a walk in Central Park late one night, Babe and Elsa are mugged, the unusual aspect of it being that their attackers were men in suits. What Babe does not yet know is that his brother is a US government special agent who is mixed up in hunting for illegal diamonds taken out of Europe during World War 2. Somehow, Babe becomes involved in the mysterious events. Not knowing anything about what's going on, Babe has to decide whom he can and cannot trust while he works to find out what's going on. Putting his marathon training to use, Babe uses his brain and eventually he finds out that he is in a crazy situation and needs to fight for his life. There are exciting scenes in this short book, such as James-Bond-style car chases and fascinating plot twists.



所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : Stephen Jennings

専 門 : 英語教授法

## これからの 「正義」の 話をしよう



書籍名 : これからの「正義」の話をしよう

著者名 : マイケル・サンデル (著)、鬼澤忍 (訳)

出版社名 : 早川書房

出版年 : 2011年 (文庫版)

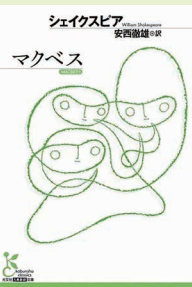
「1人を殺せば5人が助かる。あなたはその1人を殺すべきか?」(本書裏表紙)

この「トロッコ問題」という思考実験について、高校の授業などで聞いたことがある人も多いでしょう。この思考実験を広く世に知らしめたのが本書であり、公刊時は大学生のバイブルのような扱いでした。私たちの善い/悪いという価値判断の背後にあるものを一度徹底的に考えてみたいという人に、ぜひ手に取ってほしい一冊です。特に面白いのは、アフーマティブ・アクションや歴史的責任といった、現代の社会課題に焦点を当てる後半部だと思います。日本で言えば、「大学入試において『女子枠』を設けるべきか?」、「戦後生まれの私たちは、侵略戦争と植民地統治について責任を負うべきか?」といった問いに関わるテーマですが・・・理科大生には、直感的にNoと答える人が多いかもしれませんね。残念ながら、本書を限なく読んでも1つの正解が得られるわけではないのですが、高校生までの常識を激しく揺さぶられるに違いありません。本書を輪読するゼミも開講しているので、そちらもご関心があれば。

所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : 中尾 元紀

専 門 : 法学、国際法学



書籍名 : マクベス

著者名 : シェイクスピア 安西徹雄 訳

出版社名 : 光文社

出版年 : 2008年

安西徹雄訳の「マクベス」(5幕8場)には「さあこの楯、体の前にこうがっしりと構えたぞ」という台詞がある。福田恆存の訳では「このとおり頼みの楯も投げすてる」となっている(新潮文庫78刷)。「Macbeth」(Dover Thrift Editions, 1993)においては「before my body I throw my warlike shield」とある。

「throw」という単語から「投げる」と訳したくなるが、「before my body」と「throw」には「前に置く」という意味もあることから、両者の訳を参考にし、かつ五七五のリズムも意識し、「このとおり楯を前へと構えたぞ」と訳してみた。もっと良い訳を考えたかったが、残念ながら締切を迎えてしまった。

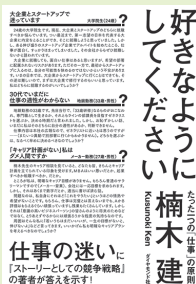
(注)「英ナビ」には、「throw」の意味として「前に置く、または前に送る」が、She threw the flashlight beam into the corner (彼女は懐中電燈の光を角に向けた)という例文と共に記載されている。

$$\zeta(s) := \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^s}$$

所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : 中村 隆

専 門 : 数学



書籍名：好きなようにしてください：たった一つの「仕事」の原則  
 著者名：楠木建  
 出版社名：ダイヤモンド社  
 出版年：2016年

「大学に入ったばかりだというのに『仕事』の本を読めど?!」タイトルを見てこう思った方もいるかもしれません。でも、そんな方も一度騙されたと思ってこの本を手にとってみてください。この本には仕事に留まらず、生き方のセンスを磨くための考え方が山のように詰め込まれています（まあ、突き詰めてみると「好きにしてください」という一言に集約されるのですが・・・）。なぜそこに到達するかは、読んでみてのお楽しみです）。その考え方で、そこに至る論理は「読書をして疲れると、息抜きに読書をする。そしてまた疲れが取れたら読書をする」という、筋金入りの読書フリークである筆者だからこそ生まれたもの。だからこそ、すっと腑に落ちます。さらに、筆者の「Write like talking」というスタイルから書かれているため、肩の力を抜いて読めるのも魅力です。新しい生活がスタートするこのタイミングで、この本を通じて「生き方のセンス」について、少し立ち止まって考えてみませんか？



所属：野田キャンパス教養部  
 氏名：半沢 蛍子  
 専門：外国語教育、応用言語学



書籍名：青い眼がほしい  
 著者名：トニ・モリスン（大社淑子訳）  
 出版社名：早川書房  
 出版年：2001年（原著は1970年）

「誰よりも青い眼にしてください、と黒人の少女ピコーラは祈った。そうしたら、みんなが私を愛してくれるかもしれないから」

一度読むと忘れられなくなる本、世界の見方を多少とも変える本があります。私にとって『青い眼がほしい』はその一つです。著者のモリスン自身が「人は何も知らない方がありがたいような事柄についての恐ろしい話」と述べるように、この小説は、差別と貧困に覆われた状況で、切実なしかし「おぞましい」願望を抱かされた黒人の少女ピコーラが、その無邪気さによって「文字通りバラバラに」破壊されていく物語です。

徹底的に差別されて貶められ続け、それを逃れるための知識も術もない状況で、人は時に「この苦しみは自分のせいかもしれない」と思わされてしまいます。ピコーラは、自分を傷つけ、貶める側の象徴である「青い眼」に憧れ、求め続けます。人は自分に善をしてくれるはずという期待を、自分自身を破壊するものに結び付けてしまっていることに気がせずに。

この小説に救いはありません。ただ、最後の場面で、ピコーラは人間にとって本当に大切なものも失ってしまったのか、是非読んで考えてみてほしいです。



所属：野田キャンパス教養部  
 氏名：堀田 義太郎  
 専門：哲学・倫理学



書籍名： 凶南（となん）の翼——十二国記

著者名： 小野不由美

出版社名： 新潮社

出版年： 2013年（1996年講談社X文庫、2001年講談社文庫）

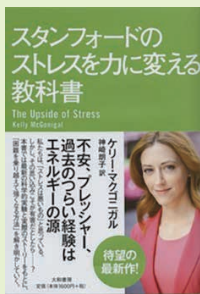
古代中国を思わせる十二の王国からなる異世界を舞台にした「十二国記」。物語世界の複雑な設定が最初の数冊では徐々にしか明らかにされないもので、いっそのことシリーズ第5部の『凶南の翼』から読んでしまうことをおすすめします（これ1冊で完結するエピソードです）。簡単にいうと、身勝手に生意気な金持ちのお嬢さん—珠晶（しゅしょう）という12歳の少女—が長く過酷な旅を経てむちゃくちゃ成長するという物語です。何より、目まぐるしく揺れ動く彼女の感情描写が生々しい。魔物もたくさん登場しますが、一番怖い「妖魔」はエゴを（自分に対して）隠した普通の人間なのだと思者は悟ることでしょう。一方、大人たちの無責任、偽善者ぶりを糾弾する主人公も自分がいかに愚かで、幼いなりに狡い人間であるか思い知らされます。大人たちが手をこまねいている間に自国が減びへと向かう中、珠晶は何のために旅に出るのか。幼い彼女に何ができるというのか。ぜひ珠晶の旅に同行して、お見届けください。



所 属： 野田キャンパス教養部

氏 名： 松本 靖彦

専 門： ヴィクトリア朝文学・文化



書籍名： スタンフォードのストレスを力に変える教科書

著者名： ケリー・マクゴニガル 神崎朗子 訳

出版社名： 大和書房

出版年： 2015年

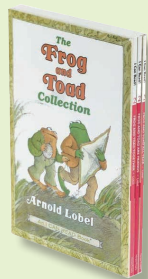
スタンフォード大学の心理学者である著者が科学的エビデンスに基づいて示す、ストレスに対する革新的な視点は、私たちの生活にとって極めて示唆に富むものです。一般的にストレスは回避すべき有害なものと思えられがちですが、本書はストレスを成長や目標達成のための貴重なエネルギー源として再定義しており、不安やプレッシャー、過去のつらい経験でさえも、自分の価値観を明確にし、生きがいを見出すきっかけとなることを、豊富な研究事例や実践的演習とともに解説しています。スポーツ場面における競技不安やプレッシャーの克服、さらには日常生活におけるストレスマネジメントの実践において、本書の知見は大いに役立つと思います。ストレスとの向き合い方を根本から変え、人生をより充実させるための必読書として推薦します。



所 属： 野田キャンパス教養部

氏 名： 向本 敬洋

専 門： スポーツ科学



書籍名 : The Frog and Toad Collection (3冊セット)

著者名 : Arnold Lobel

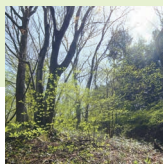
出版社名 : HarperCollins

出版年 : 2004年

性格の異なる2匹のカエル。マイペースでものぐさながまくん(Toad)と、明るくてしっかりもののかえるくん(Frog)の可笑しくて、切ない、愛情あふれる生活を、素朴な文章と可愛らしい絵で綴った絵本です。各冊とも短編が5話、一話は400語程度の平易な英文で書かれており、英語が得意な人も、そうでない人も、数分で楽しく読み終えることができます。

英語が好きな人はもちろん、受験勉強を通して英文を読むことに疲れてしまった人、英語に苦手意識をもってしまった人、これまで学習以外で英語を使ったり、使うことを楽しんだりしたことがない人にお勧めします。絵本の文章は易しいだけでなく、味わい深く、英語らしい表現も多いです。また同じ言い回しが繰り返してくるので、英文の微妙なニュアンスも理解することができます。

大学生になったなら、授業から離れたところで、これまでの英語学習の実りを実感しませんか。ここから始めて、理科大図書館に所蔵されている数百冊の学習用英語読本にも手を伸ばしてみませんか。



所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : 宗内 綾子

専 門 : 英文学



書籍名 : 知の体力

著者名 : 永田和宏

出版社名 : 新潮社

出版年 : 2018年

高校までの「勉強」の先に大学での「学び」があるのは間違いありません。しかし実のところ、両者には大きな違いがあります。その差異の本質を高解像度で詳述している良書です。ぜひ大学生活の早いうちに一読してみてください。

本書に通底するのは「知とは何か」という哲学味あふれる問いですが、著者の専門である細胞生物学のエピソードと相俟って、皆さんにとっても親しみやすい一冊になっていると思います。

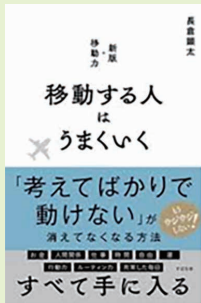
とりえず目次だけでも眺めてみてください。「大学を高校から切りはなす」「答えのない問題」「先生だって嘘を言う」「能動的に聞く」「想定外に向き合う知力」「小さな空間に閉じこもらない」など、目を引く見出しが必ずあると思います。そしてザッとでいいので全体に目を通し、一か所でもいいのでひっかかるところがあれば熟読し、そこに意識を向けて大学生活を送ってみてください。人生という「正解のない大海原」を進むためのヒントと勇気をもらえるはずです。



所 属 : 野田キャンパス教養部

氏 名 : 安田 利典

専 門 : 外国語教育



書籍名：移動する人はうまくいく

著者名：長倉 顕太

出版社名：すばる舎

出版年：2024年

行動生理学を専門とする私は、移動やそれに伴う運動が身体機能にどのように影響するかに興味があります。この本の内容はそのような生理学的狭義の世界を飛び越えたものであり、衝撃を受けました。一方で、環境・感情・行動という一連の変化は生理学としても確からしいと共感することもできました。文系・理系という誰かが決めたミクロな解釈に囚われることから解放するための思考を与えてくれる名著であると考えます。何をやっても上手くいかないと思ってしまう人、充実した大学生活を送りたいと思っている人、それぞれの主観で読んでいただきたいと思います。



所 属：野田キャンパス教養部

氏 名：柳田 信也

専 門：行動生理学

## コラム：本を読み、旅に出て、そしてまた本を読もう①

この冊子では多くの「おすすめ」の本をご紹介しますが、この世界には（当たり前ですが）もっともっとたくさんの、魅力的な本が溢れています。それらの本とさらに出会いたいと思う方は、ぜひ図書館に行ってみてください！理科大の各キャンパスにある図書館はもちろんのこと、気軽に利用できる地元の公立図書館なども、皆さんの視野と可能性を広げてくれる「無限の世界」です。

ここでは、国内外の魅力的な図書館をいくつかご紹介します。ぜひ、この冊子をきっかけに何冊かの本を読んでみてください、夏休みや春休みにどこかにふらっと旅に出て、そしてその旅先の図書館でまた素敵な本と出会っていただけたら嬉しいです！



### バチカン図書館 (Bibliotheca Apostolica Vaticana) 宮殿の中の美術館! ? 歴史的文化遺産を守る世界最古の図書館の一つ

アクセス ローマから地下鉄で5分ほど、サン・ピエトロ駅で下車

1448年にローマ教皇ニコラウス5世が人文科学研究を進めるための公共図書館として計画し、教皇シクストゥス4世がその遺志をついで設立した図書館です。最古の聖書写本として知られるバチカン写本など歴史的に重要な書物を多く所蔵しています。もともと宮殿であった館内は多くの美術品で彩られていて、図書館と美術館が融合して存在しています。2021年には常設のアートギャラリーが誕生し、一般見学が可能となりました。



### 石川県立図書館 「百万石ビブリオバウム」ってなんだ! ?

アクセス JR金沢駅から北鉄バスを利用し、石川県立図書館で下車

2022年7月にオープンしたばかりの図書館で、通称は「百万石ビブリオバウム」。吹き抜けの美しい閲覧エリアは、まるで円形の劇場のように開放感抜群です！この閲覧エリアでは、従来の図書分類法ではなく、「世界に飛び出す」・「仕事を考える」・「本の歴史を巡る」など興味深い12のテーマで、書籍が整理されています。(36ページに続く)

君は永遠にそいつらより若い

津村記久子



筑摩書房

書籍名 : 君は永遠にそいつらより若い

著者名 : 津村記久子

出版社名 : ちくま文庫 (筑摩書房)

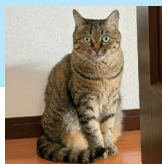
出版年 : 2009年 (単行本は2005年)

大学に入学し、皆さんはどんな大学生活を思い描いているのでしょうか。

本書は、まじめで地味に大学生活を過ごし、公務員としての就職も決まった、大学4年生のホリガイが主人公の小説です。長身の女性であるホリガイは、周りからすればささやかに見える悩みを抱えながら、残りの大学生活を平凡に過ごしています。しかし、そうしたなかでホリガイは周囲の人々の抱える傷や悩み、そして自分のなかにある曖昧な感情に直面することになります。

著者の津村記久子氏は「ポトスライムの舟」で芥川賞を受賞しており、本書は太宰治賞を受賞した著者のデビュー作にあたります。

生活のなかで、ときおり違和感や孤独を感じることはあるが、それをことさら粒立たくもない、かといって自分が感じることを無視もしたくない——かくいう私がそういう学生でしたが——そんな方には、いつのまにかおとなになってしまう自分と社会の関係を考える一冊として、おすすめです。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 青木 洋英

専 門 : 公法学

企業研究者たちの感動の瞬間

ものづくりに賭けるタレントの夢と情熱

有機合成化学協会・日本プロセス化学会 編集

化学同人

書籍名 : 企業研究者たちの感動の瞬間:モノづくりに賭ける夢と情熱

著者名 : 有機合成化学協会, 日本プロセス化学会 (編集)

出版社名 : 化学同人

出版年 : 2017年

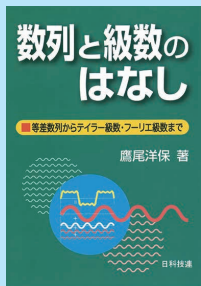
本書は、創薬や機能性材料など多様な分野で活躍する現役の企業研究者が、製品開発の現場を自らの言葉で語る一冊です。研究テーマの着想から事業化に至るまでの流れが具体的に示されており、研究とビジネスの関係についても、率直な視点で語られています。また、本書の特徴の一つは、試行錯誤や失敗の過程にも目を向け、「成功へのカギ」を丁寧に紹介している点にあります。さらに、化学構造式や分子設計に基づいた検討の重要性にも触れており、ものづくりのリアルが伝わってきます。一方、大学研究が「ゼロをイチにする」概念創出の魅力を持つのに対し、企業研究ではビジネスを前提とした大きな制約の中で「イチを何倍にもする」創意工夫が求められます。こうした違いを踏まえると、本書は企業研究の視点から大学での学びの価値を見つめ直し、ものづくりのワクワク感に触れる良い機会を与えてくれます。実験レポートなどの課題の締切に追われる中で、学びへのモチベーションアップが期待できる一冊です！



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 秋山 好嗣

専 門 : 有機機能材料工学



書籍名 : 数列と級数の はなし

著者名 : 鷹尾洋保

出版社名 : 日科技連出版社

出版年 : 2001 年

皆さんは高校で等差数列や等比数列を学び、このような数列とその和については馴染み深いものかと思います。本書は等差数列や等比数列など基本的な数列からスタートし、漸化式や数学的帰納法、テイラー級数やマクローリン級数といったベキ級数、フーリエ級数といった三角級数、さらにはこれらの微分方程式への応用まで、とても易しく解説されています。特にテイラー級数やマクローリン級数は大学一年次の微分積分で必ず扱われるものですから予習や復習にもなるかと思えます。厳かな数学書というよりも気楽に読める読み物に近いです。ベキ級数や三角級数などの関数項級数は大学以上の数学で扱われるものですが、高校数学の知識で十分に楽しめますので興味がある人はぜひ手に取ってみて下さい。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 石田 敦英

専 門 : 偏微分方程式



書籍名 : 本所深川ふしぎ草紙

著者名 : 宮部みゆき

出版社名 : 新潮社

出版年 : 1995 年

落語や囃の題材にもなっている江戸時代の本所（現在の墨田区南部）に伝わる、「送り提灯」、「置いてけ堀」などのいわゆる「本所七不思議」を題材にしたミステリー時代小説（吉川英治文学新人賞受賞作品）。元々の七不思議（実際は七つ以上あります）は少しユーモアに感じるような怪異・怪談ですが、そこはさすがに宮部みゆきワールド。七つのエピソードの顛末を下町人情での世界のエピソードとして深掘りして描かれた短編七篇になっています。本書を片手に、実際に両国橋、錦糸堀公園、旧安田庭園など両国駅・錦糸町駅周辺を散策してはどうでしょうか？

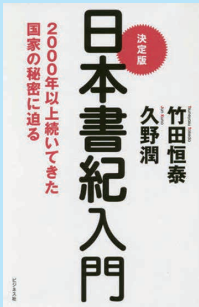
なお、もしホラー・ミステリージャンルが得意でしたら、スクエア・エニックス社のテキストアドベンチャーゲーム『パラノマサイト FILE23 本所七不思議』（2023年日本ゲーム大賞優秀賞作品、年齢制限あり、様々なデバイス用に発売）も併せておすすめします。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 板場 綾子

専 門 : 代数学（環論）



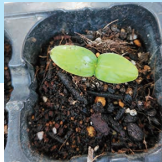
書籍名 : 日本書紀入門

著者名 : 竹田恒泰、久野潤

出版社名: ビジネス社

出版年 : 2019年

著者達も記しているが、本書は日本書紀を解説しているというよりも、日本書紀に興味を持って欲しいという思いを綴った一冊である。日本書紀とはどういう物か、また先人達にどのような影響を与えたか、などが記されている。私自身「日本書紀を読みたいぞ（つまりまだほとんど読んでいない）」という段階なので恐縮するが、是非ご一読いただきたい。私はかつて歴史にはあまり興味がなかったが、某ゲーム（三国志、しかも初代！）をきっかけに興味を持つようになった。年表を覚えるだけの歴史ではなく、先人達の息吹を感じ、歴史「に」学んで、それを今の日本に、また我々の大切な権利である選挙に於ける投票に、生かすことは重要であろう。その一助として日本書紀を読もうという気持ちになるのではないだろうか。



所 属: 葛飾キャンパス教養部

氏 名: 宇津 栄三

専 門: 物理学、原子核理論



書籍名 : 科学の考え方・学び方

著者名 : 池内了

出版社名: 岩波書店

出版年 : 1996年

皆さんは科学者・技術者の卵です。これから科学を深く学んでいくための入り口に立っています。「なぜ科学を学ぶのか?」「科学の考え方とは何か?」科学は文化の一つとして我々の自然観・世界観を作り出す重要なヒントを与えてくれます。科学は「役に立つ」技術を我々にもたらします。一方で、私の専門分野である「天文学」も含め、科学の巨大化・難解化、技術の加速化も進んでいます。一つの科学法則から次々に生み出される複雑化した技術の数々。「どのように役に立つのか?」「必要とする技術を決めるものは何か?」どのように技術を選び取るのかは、我々の社会の考え方（価値観）次第です。

本書は、高等学校までに学んできた科学の歴史を振り返り、科学的アプローチや目的に光を当てながら、「科学を学ぶ姿勢」「科学・技術・社会のあり方」を皆さんに問う内容になっています。新入生にとって、これからどのように科学を学び、考えていくかという絶好の機会を与えてくれるでしょう。



所 属: 葛飾キャンパス教養部

氏 名: 大越 克也

専 門: 天文学



書籍名：悪のしくみ (中学生までに読んでおきたい哲学 2)

著者名：松田哲夫 (編)、南伸坊/案内人 (その他)

出版社名：あすなろ書房

出版年：2012年

「悪とは何か」を多角的に考えるための格好の一冊です。18編の短い文章が収められており、万引きやいじめといった身近な問題から、偽善や正義の暴走といった社会的テーマまで、さまざまな角度から「悪」の姿を描き出します。どの作品も平易な文章で書かれていながら、読み終えたあとに静かな余韻と問いを残してくれるのが特徴です。

大学生活は、自分の価値観や判断基準を形づくる大切な時期です。この本は、単に「悪いことをしてはいけない」と教えるのではなく、なぜ人は悪に惹かれるのか、どこからが悪なのか、そして自分自身の中に潜む影とどう向き合うのかを考えるきっかけを与えてくれます。短編アンソロジーなので、授業の合間や移動時間にも読みやすく、初めての1冊としても最適です。大学での学びをより深めるための「思考の入口」として、ぜひ手に取ってみてください。



所属：葛飾キャンパス教養部

氏名：太田 智加子

専門：視覚障害教育、教育学



書籍名：ガザに地下鉄が走る日

著者名：岡真理

出版社名：みずず書房

出版年：2018年

本書は、現在進行しているガザでの衝突以前に執筆された、ガザ地区に関する民族誌である。「現代の強制収容所」とも呼ばれるパレスチナ・ガザ地区に生きる人々が、ミサイル攻撃、物資の不足、移動の自由の欠如といった過酷な状況に日々直面している様子が描かれている。本書では、イタリアの哲学者ジョルジョ・アガンベン「剥き出しの生」という概念を手がかりに、「人間未満の生」がいかにして成立しうるのかを分析し、私たちが自明のものとして受け止めてきた「人権」という概念を根本から問い直す。一見すると普遍的であるはずの「人権」に内在する欠落が、どのような社会構造のもとで要請されているのかを省察することによって、パレスチナ・ガザ地区をめぐる虐殺が、決して私たちから遠い出来事ではないことを実感できる一冊である。



所属：葛飾キャンパス教養部

氏名：何 欣琪

専門：応用言語学



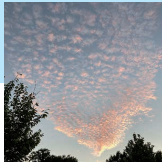
書籍名：詩は友人を数える方法

著者名：長田弘

出版社名：講談社文芸文庫

出版年：1999年

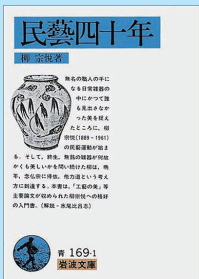
詩人の長田弘が旅の記憶を綴ったエッセイ集です。私自身、タイトルに惹かれてこの本に出会いました。アメリカの大都市ではなく、小さな田舎町、森や荒地をひとりですら車で進み、「地図を読み、黙って、風景のなかにはいりこむ」旅は、距離にして5万キロほど。旅の目的がある訳でもない。「北アメリカを旅することは、おおきな鳥の影の下を横切ることだ」——北アメリカの風景に潜む、何か不穏な、落ち着かない気持ちにさせる気配を感じながら著者が口ずさむ詩は、無名の詩人によるものばかりです。不思議にも、著者が引用した瞬間、詩の言葉はまるでその風景を語るためにあらかじめ作られたかのように、はっとする煌きを放ちます。未知のものとの出会い、自分の感覚を象ってくれる言葉を（インスタの画像に頼ることなく！）探し当てる旅を、私たち自身、毎日重ねているともいえるでしょう。そんな私たちの心を支え、「友人」となってくれるような言葉が潜む一冊です。



所 属：葛飾キャンパス教養部

氏 名：金澤 淳子

専 門：アメリカ文学・文化



書籍名：民藝四十年

著者名：柳宗悦

出版社名：岩波書店（岩波文庫）

出版年：1984年

「民芸」という言葉が日本の美術系・ホビー系・旅行系メディアを賑わすようになってから随分と時間が経ちました。無名の職人たちが生業として生み出す日常生活道具のなかに美を見出して「民衆的工芸」と呼んだ柳宗悦の思想がその由来であるという背景も、最近では広く知られるようになってきました。若い学生の皆さんには無関係な道楽の話に聞こえるかもしれませんが、この「民芸」という言葉を生んだ柳宗悦の著作に立ち戻ってみると、そこには「ものづくり」に取り組む者が決して見失ってはならない倫理的・審美的観点が、現代にも通用する形で語られていることがわかります。「ものづくり」とは何のための、誰のためのものか。本書を通じて柳と議論を戦わせてみるのも一興かと思えます。



所 属：葛飾キャンパス教養部

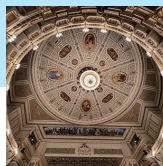
氏 名：北 和文

専 門：応用言語学

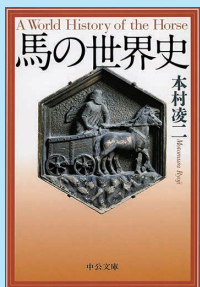


書籍名 : 悪人の物語 (中学生までに読んでおきたい日本文学1)  
著者名 : 松田哲夫 (監修, 編集)  
出版社名 : あすなろ書房  
出版年 : 2010年

編集者のセンスが光るシリーズです。中坊の頃からこうした人の世の機微を理解できていればもう少しマシな人間になっていたろうな…、という未熟なオトナたちにごそ捧げたい。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部  
氏 名 : 木名瀬 高詞  
専 門 : 文化人類学・社会史



書籍名 : 馬の世界史  
著者名 : 本村俊二  
出版社名 : 中央公論新社  
出版年 : 2013年

「世界史? あんな暗記科目はもううんざり!」と思っている理科大生は少なくないでしょう。しかし、薬や化学物質の名称を間違えたら命の問題につながる可能性があります。歴史上の人物の名前を間違えても命にかかわることはほとんどないはずですが。この本では、馬という動物を主人公として世界史の景色を眺めています。現在は主に機械に取って代わられていますが、かつて馬は有用な移動手段であり、農耕の仲間であり、強力な軍事技術の重要な一部でもありました。したがって、馬は人類の歴史を大きく動かす原動力でもあったのです。歴史を学ぶことは、過去という異文化を体験することによって現在を相対化できるきっかけになると思っているのですが、馬と人間との関係に着目することも不思議な異文化体験になるかも知れません。馬にあまり興味がない方でも、世界史が好きではない方でも、一度読んでみては如何でしょうか。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部  
氏 名 : 金 凡性  
専 門 : 科学社会学・科学技術史



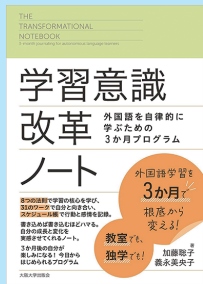
書籍名 : サイボーグになる—テクノロジーと障害、わたしたちの不完全さについて  
 著者名 : キム・チョヨブ、キム・ウォニョン  
 出版社名 : 岩波書店  
 出版年 : 2022 年

近年読んだ本の中で、最も刺激的な著作の一つである。多くの読者は、「サイボーグ」という言葉に込められた含意におそらく驚愕するだろう。サイボーグは元来、機械と結合した有機体を意味し、現代の最先端科学技術文明の象徴のように思われている。

しかし、サイボーグに対する「象徴」的イメージはこの本を読むことで崩れ去る。障害者や患者を「治療」することがテクノロジー（医療を含む）の目的だと信じている愚か者には、苦い良薬となるだろう。「健常者」を自認する君には、君の「不完全な」生を肯定する勇気もたらされるだろう。勇気ある者たちは、マイケル・サンデル『完全な人間を目指さなくてもよい理由—遺伝子操作とエンハンスメントの倫理』（ナカニシヤ出版、2010年）、ダナ・ハラウェイ『猿と女とサイボーグ—自然の再発明』（青土社、2017年）、そしてダナ・ハラウェイ『伴侶種宣言：犬と人の「重要な他者性」』（以文社、2013年）へと歩を進めよ！



所 属 : 葛飾キャンパス教養部  
 氏 名 : 慎 蒼健  
 専 門 : 科学史・科学論



書籍名 : 学習意識改革ノート  
 著者名 : 加藤聡子、義永美央子  
 出版社名 : 大阪大学出版会  
 出版年 : 2024 年

Mastering a foreign language requires steady, day-by-day effort, not only in the classroom but also outside, away from the teacher independently. However, keeping motivation and sense of direction over time can be difficult. This workbook is designed to help you build sustainable foreign language learning habits that fit your life.

Rather than focusing only on study techniques, this book helps you think more broadly and meaningfully about learning itself. You will reflect on your past experiences with language learning, imagine the kind of learner you would like to become, and connect your long-term goals with realistic daily actions. Through guided activities, you will critically explore your own time management, consider your learning style, and identify strategies and resources that work for you.

This workbook is built around hands-on writing tasks. You'll be given guidance on how to plan concrete actions, record your learning progress, and keep track of your motivation, emotions, and well-being, for example. You will also learn how to reflect on your learning and adjust as you go. By writing regularly and engaging honestly with the activities presented in this workbook, you may begin to notice your own growth and change and sense of self-efficacy. This workbook hopefully supports you in becoming a more confident, self-directed language learner at university and beyond.



所 属 : 葛飾キャンパス教養部  
 氏 名 : Turner, Matthew W.  
 専 門 : 外国語教育



書籍名 :いのちの旅

著者名 :原田正純

出版社名 :岩波書店

出版年 :2016年

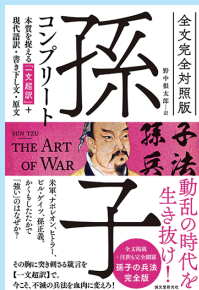
「公害」は、生態系や人々の暮らしよりも経済成長を優先することによって起きます。水俣病は、戦後日本が生産力を拡大していく中で生じました。政府と企業は、被害が出ていることを知りながら原因を曖昧化し、対応を遅らせました。経済成長を絶対とする価値観は現在でも非常に根強いものですが、それによって誰が／何が犠牲にされているのか、そしてどのような別の形のより豊かな生活が見えなくされているかを本書は考えさせてくれます。本書の著者で医師の原田正純さんは、水俣病患者の側に立ち、患者を診て、研究を発表し続けてきました。原田さんは、水俣病事件を通して学んだのは「何のために研究をするかという研究のあり方、専門家とは何か」だったと書いています。大学で学ぶこと、研究することとは何なのか。それは専門分野の人とだけ話していればわかるのではなく、様々な立場や考えを持つ人たちと出会い、話をする中で見出しにいけるものだと私は思います。



所 属 :葛飾キャンパス教養部

氏 名 :田尻 歩

専 門 :文化研究



書籍名 : 全文完全対照版 孫子コンプリート:本質を捉える「一文超訳」+現代語訳・書き下し文・原文

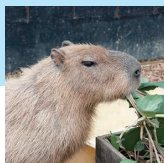
著者名 :野中根太郎

出版社名 :誠文堂新光社

出版年 :2017年

勝負の行方は、戦いが始まる前に大方決まっている。戦わずして勝つのが最善であるが、戦わなければならない状況でも決して負けないように、日頃から準備しておく必要がある。常に他者より多くのことを考え、多くの状況を想定し、多くの対策を練ることが、この厳しい競争社会を生き抜くための作法である。勝つ者は勝つべくして勝つ。地道に勝算を積み上げて、いざというときに勝てる人間になろう。

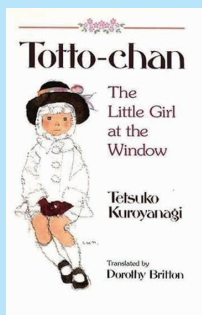
『多算勝、少算不勝、而況於無算乎』(孫子)



所 属 :葛飾キャンパス教養部

氏 名 :田中 亮太郎

専 門 :関数解析学



書籍名 : Totto-chan: The Little Girl at the Window.

著者名 : Tetsuko Kuroyanagi, (translated by Dorothy Britton)

出版社名 : KODANSHA

出版年 : 1981 (Original Japanese Publication) (2011: First U.S. Edition)

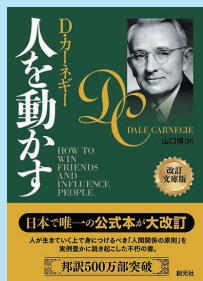
"Totto-chan: The Little Girl at the Window" is Tetsuko Kuroyanagi's poignant memoir of her experiences at Tomoe Gakuin in the 1940s against the backdrop of WW2. Too disruptive for her conventional classroom, Totto-chan's mother must find her a new school, which she does, and it changes the course of her life. Founder and Headmaster Sosaku Kobayashi welcomes Totto-chan into his innovative school, Tomoe Gakuin, with open arms after four hours of listening to her introduce herself. Never before has a teacher listened to her so attentively or so patiently in her little life. This unorthodox school, which uses an abandoned train car for a classroom in what is now Meguro Ward in Tokyo, is a magical place where children learn to accept each other and themselves as they explore the world around them, learning valuable life lessons along the way. At Tomoe Gakuin, even traditional subjects, including math, science, and music, are taught creatively, as though school is an adventure and never a chore. Students are encouraged and taught by example and spend their days developing valuable life skills not easily taught in textbooks, including empathy and acceptance. Each child is embraced and treated with kindness and patience, never defined by their shortcomings, disabilities, or mistakes. Viewed as the unique person they are and the great person they can become, the children develop a strong sense of confidence that will guide them through the turbulent times they face as the world changes around them.



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : Darnell Watson

専 門 : 外国語教育



書籍名 : 人を動かす 改訂文庫版

著者名 : デール・カーネギー

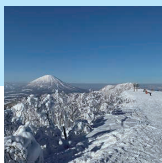
出版社名 : 創元社

出版年 : 2023 年

新生活の中で、多くの出会いに胸を弾ませていることでしょうか。しかし、関わる人が増えるほど、対人関係の難しさに悩むこともあるかもしれません。そんな皆さんにぜひ薦めたい一冊が、この本です。

私自身、題名に惹かれて気軽に手に取ったのですが、そこには人付き合いの根幹ともいえる本質的な教えが詰まっていました。立場や場面を問わず、コミュニケーションを円滑にするための実践的なメソッドが凝縮されています。

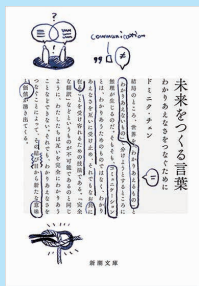
本書は1936年の初版以来、全世界で1,500万部、日本でも500万部を超える記録的なベストセラーです。歴史ある本ですが、文章は非常に平易で読みやすく、私も一気に読み終えたのを覚えています。大学生活では、これまで以上に多様な価値観を持つ人々と関わることになります。本書から得られる「相手を尊重する技術」は、卒業後も一生の財産になるはずで、これからの人生を豊かにするヒントを、ぜひ本書から見つけてください。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 中井 定

専 門 : 健康科学



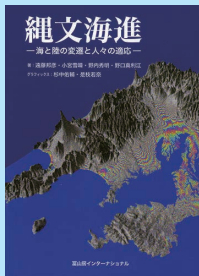
書籍名 : 未来をつくる言葉 わかりあえなさをつなぐために  
著者名 : ドミニク・チェン  
出版社名 : 新潮社  
出版年 : 2020年

著者は、企業の研究員、起業家、情報学者、メディア・アーティスト。その活動は多岐にわたる。たとえば、人と微生物が会話できる、ぬか床発酵ロボット Nukabot の研究開発が比較的有名だろう。日々変動する情報環境の最前線に身を置きながら、その思考には常に「いのち」へのあたたかな眼差しが感じられる。

本書の冒頭には、自身の子どもの出産に立ち会った経験が鮮烈に描かれている。いわく、ついに赤ん坊が生まれた。その「身体がはじめて自律的に作動したその時、自分の中からあらゆる言葉が喪われた。同時に、とても奇妙なことだったが、いつかおとずれる自分の死が完全に予祝されたように感じられた」と。いったいどうしたことなのか。私自身、自分の子の誕生の際これとまったく同じ感覚を持った（本書を読んでそう気づいた）ので、こう断言できる：人生は、この謎を解くために（も）生きる価値がある。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部  
氏 名 : 昼間 賢  
専 門 : 仏語仏文学 芸術



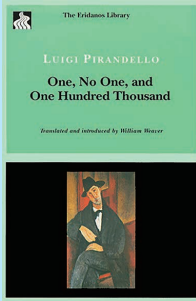
書籍名 : 縄文海進  
著者名 : 遠藤邦彦 / 小宮雪晴 / 野内秀明 / 野口真利江  
出版社名 : 富山房インターナショナル  
出版年 : 2022年

地球上の気候変動は約10万年スケールの氷期間氷期サイクルに支配されている。関東平野において、最終氷期が終わり、縄文海進が始まった1万1千年ほど前の海面は、現在より50mあまり低かった。その後の海面上昇により海岸線は100km以上も内陸に移動した。この海岸線の移動を「縄文海進」と呼ぶ。

一方で日本の近代考古学は、モースによる大森貝塚の発見から始まった。その後の関東平野の大開発に伴い、ボーリングと微化石調査が世界でも希にみる密度で行われた。その結果、貝塚の分布が縄文海進に伴う当時の海岸線の変化を反映していることが学的にも証明された。本書では、このような東京湾周辺での海面変動に関する最新データを紹介し、海岸線の移動を詳細に記した古地図を示し、縄文人はいかに環境の変化に対して積極的に行動していたか、その実態をあきらかにしている。日本の第四紀学をけん引してきた筆者による渾身の一冊である。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部  
氏 名 : 船引 彩子  
専 門 : 地理学



書籍名 : One, No One, and One Hundred Thousand

著者名 : Luigi Pirandello (訳 : William Weaver)

出版社名 : Marsilio Editori

出版年 : 1990年 (原作出版年 : 1926)

This novel begins with a seemingly mundane conversation between Vitangelo Moscarda and his wife about the shape of his nose, a discussion that quickly opens up profound existential questions for Vitangelo. Written by the Italian Nobel laureate Luigi Pirandello, the book deserves a much larger international readership. I was surprised to discover that the Japanese translation is not widely available. Thankfully, English editions are much easier to find. I truly believe that learning English just to read this novel is worthwhile. In my own case, I initially began learning Italian specifically to read it in the original, an experience that later proved immensely valuable in many other ways. My appreciation for this work runs so deep that I chose an epigraph from it for my doctoral thesis, which focused on the ideas of 'self' and 'other' in language. Although relatively short, the novel rewards multiple readings at different stages of life, as identity is an enduring topic for everyone, and each time it reveals fresh insights into who we are, or who we believe ourselves to be. Its settings are also rich with symbolic significance. For example, why is the protagonist named Vitangelo Moscarda? Considering such hidden meanings adds further enjoyment and intellectual depth to the reading experience.



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 細川 尚子

専 門 : 社会言語学



書籍名 : ミレニアム1～6

著者名 : スティーグ・ラーソン、ヘレンハルメ著、ヘレンハルメ美穂訳、岩澤雅利訳

出版社名 : 早川書房

出版年 : 2011年 (1の上) ~ 2021年 (6の下)

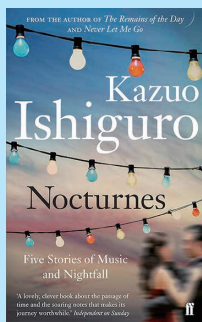
スウェーデン発のミステリー推理小説である本書は、本国スウェーデンで歴史的ベストセラーとなり、全世界で6000万部を売りあげた大ヒット作である。スウェーデンを舞台にジャーナリストであるミカエルと謎多き天才ハッカーであるリスベットが、大企業の犯罪や、世界的規模で展開される性差別と性搾取、ヨーロッパにおける人種主義やネオナチの存在と対峙していく。「ポスト冷戦」以降の現代社会にはびこる重大な社会問題をテーマにしながらも、張り巡らされた伏線と見事な謎解き要素が相まって読み物として純粋に面白い。なお、本書の著者はジャーナリストであるだけに本書の内容にはリアリティがありながらジャーナリズムの奥深さとかっこよさを教えてくれる。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 洪 昌極

専 門 : 歴史学



書籍名 : **Nocturnes : Five Stories of Music and Nightfall**

著者名 : Kazuo Ishiguro

出版社名 : Faber & Faber

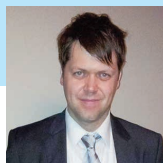
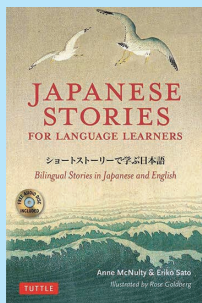
出版年 : 2009年

*Nocturnes* (2009) is a collection of five musically-inspired short stories written by the celebrated British novelist Kazuo Ishiguro, whose skill as a storyteller was recognised with a Nobel Prize in Literature in 2017. His novels, including *The Remains of the Day* (1989), *Never Let Me Go* (2005), and *Klara and the Sun* (2021), span a variety of different genres, ranging from historical fiction to science fiction and fantasy. Ishiguro's style of English prose, as well as the plot lines of his stories, appear deceptively simple. While the language is easy to read, the complexity and psychological depth of his characters quickly draw the reader in on an emotional level, often making his books hard to put down. The stories in this collection are set in different times and locations, from Venice to the English countryside to Los Angeles, but are also subtly linked together. As in Ishiguro's novels, the stories feature narrators who are at times unreliable, and whose self-deception is only gradually revealed. Due to the more limited scope for character development of the short story format, *Nocturnes* is less gripping than some of the author's best novels. Nevertheless, the five stories are entertaining and at times touching too. They can be read quickly and will give the reader who is new to Ishiguro's work a delightful first taste of what the author has to offer, exploring his favourite themes of identity, memory, longing, and the passage of time.

所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : マイケル・ホフメア

専 門 : 応用言語学



書籍名 : **Japanese Stories for Language Learners**

著者名 : Sato, E., McNulty, A.

出版社名 : チャールズ・イー・タトル出版

出版年 : 2018年

There are many ways to learn a foreign language, such as English. One may study its grammar, memorize vocabulary, learn key phrases, but ultimately one needs to know how the language works naturally in context. One of the best ways to learn a language is through stories. This is because we must use language in both natural and creative ways when one writes or tells a story. With enough background vocabulary and knowledge, the student will be able to comprehend unknown words based on the context of the story. I wish to recommend the volume called *Japanese Stories for Language Learners*. Some, if not many, of these stories will already be familiar to young Japanese learners and therefore they can draw on their rich background of knowledge when reading or listening to these stories, which they may be hearing in English for the first time. This particular volume is a bilingual edition. This means that students can read or listen to the stories first in English and check their understanding later in Japanese. In addition, the book also comes with free online MP3 audio so that students can enjoy listening to the stories as well, which can be utilized to help with pronunciation and activities like shadowing. Once students listen to all of these stories, I recommend a similar volume by the same publisher called *Japanese Folktales for Language Learners*. This is a fun way to learn more about the contextual nuances of the English language.

所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : McLaughlin, Matthew

専 門 : English literature

古くてあたらしい仕事  
島田潤一郎  
SHIMADA Junichiro



新潮文庫

書籍名 : 古くてあたらしい仕事

著者名 : 島田潤一郎

出版社名 : 新潮社

出版年 : 2024年

生成AIの登場によって、なくなる仕事や大きく姿を変える仕事が語られる中、『古くてあたらしい仕事』というタイトルに惹かれて手に取りました。著者は本の編集者であり、自ら立ち上げた出版社の社長でもあります。本書には、子ども時代のことや本への想い、そして自身の仕事について、エッセイとして丁寧に綴られています。斜陽産業と言われる出版業界で、一冊の本をひとりの読者へ手渡すように届けていく姿は、効率やスケールを重視するビジネスとは真逆の取り組みです。自ら書店へ足を運び、作家の家族や装丁者と関係を紡いでいく。その姿に、古くてあたらしい仕事が息づいているのを感じました。この本は、仕事とは何かを問いかけてくれると同時に、こんなふうに純粋に本を作り続ける人がいることへの、静かな喜びを感じさせてくれました。読み終えたあと、こういう仕事がほかには何があるのだろうか、想いを巡らしました。

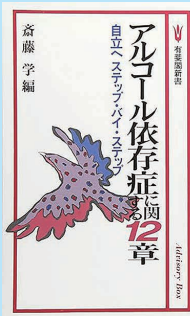


所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : マスワナ 紗矢子

専 門 : 応用言語学

斎藤学編



書籍名 : アルコール依存症に関する12章：自立へステップ・バイ・ステップ

著者名 : 斎藤学

出版社名 : 有斐閣

出版年 : 1986年

日本における依存症治療を大きく変えた精神科医・斎藤学による一冊。192頁の新書判で全12章からなり、専門的な内容を扱いながらも読みやすい構成となっている。依存症の成り立ちや心理的背景、家族や社会との関係、回復の過程までを幅広く解説。アルコール依存症を「意志の弱さ」ではなく「誰にでも起こりうる病」と捉える視点は、ゲーム・薬物・ギャンブルなど現代のさまざまな依存を理解する手がかりにもなる。初版から約30年を経た今も読み継がれる、古典的名著である。人間の心理や社会との関わりについて、これまでとは異なる視点が見られるだろう。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 松浦 真澄

専 門 : 臨床心理学



書籍名 : スタインベック短編集

著者名 : スタインベック

出版社名 : 新潮社

出版年 : 1954年

見知らぬ人と共有した時間が深く心に刻まれる経験を持っていますか。スタインベックの優れた短編を集めた本書に収録されている「朝めし」の主人公はそうした経験の持ち主です。主人公が旅の途中、谷間でテント生活を送る季節労働者一家から朝ご飯をふるまわれる話、と要約される「朝めし」は文庫本で僅か5ページしかありません。それにもかかわらず深い味わいを残すのはなぜか。その理由のひとつは、五感を刺激して読者を物語に引き込む作者の秀でた描写力と言えるでしょう。オレンジ色の炎を吹き出すストーブで暖をとりながら夜と朝がせめぎ合う明け方の空を眺め、ベーコンの焼ける匂いとじゅうじゅうという音に食欲をそそられ、熱く苦いコーヒーをすする主人公の描写は、読者に主人公との一体化を無理なくもたらします。後年、主人公はこのひとときを「思い出すたびにあなたがいかがいかがおみあげしてくる」ものとして振り返ります。作品を読んだ皆さんにとって「朝めし」が、思い出すたびにあなたがいかがいかがおみあげしてくる物語であることを願うと共に、「朝めし」同様、社会派作家とは別の顔も持つスタインベックを知ってもらいたいという思いからこの短編集を紹介します。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 松本 和子

専 門 : 英文学



書籍名 : 詰むや詰まざるや 将棋無双・将棋図巧 (東洋文庫 282)

著者名 : 伊藤宗看・看寿 (門脇芳雄 解説)

出版社名 : 平凡社

出版年 : 1975年

AIの時代を不安に感じることなかれ。人間知性の崇高な美意識と遊び心を実感できる本がここにある。

藤井聡太竜王(執筆現在)が詰将棋作家でもあることは有名だが、これは詰将棋の記念碑的作品集である。将棋の駒はたった8種類で最大40個。空間は9かけ9の81マス。駒の個性(動き方)やルールはテレビゲームと比べても単純だ。ところが奥が深い詰将棋。最初にズラリと並んだ駒が手が進むと煙のように美しく消えて、最後はたった2枚で裸の王様を詰ます「煙詰(けむりづめ)」(第九十九番)は有名。どうやって王を詰ますのか「棋譜」(駒の動きの記録)を追うだけで楽しくなる。

AIにだって作れる?それをゼロから企図して実現している人間の想像・創造力を堪能してから言ってほしい。気に入ったら100近くの美しい詰将棋を「読んで」みたい。そして理系の書架に東洋文庫が並ぶのもカッコいい。箱の中身、布張りの装丁も素晴らしいので一度手に取ってよく見てほしい。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部

氏 名 : 村上 学

専 門 : 哲学・倫理学



書籍名：眠れない一族 ―食人の痕跡と殺人タンパクの謎

著者名：ダニエルT. マックス

出版社名：紀伊國屋書店

出版年：2007年

時間の嗜好性をクロノタイプと呼びますが、一般的に大学生である皆さんは、「夜型」で、深夜まで活動することが得意な年代です。これからの大学生活では、レポートや課題、アルバイト、友人付き合い等で、夜更かしやオールを多く経験することでしょう。大学生の頃の私も、楽しいことややってみたくらいが山ほどあり、眠っている時間をもったいないと思っていました。私が「致死性家族性不眠症 (FFI)」という病気を知ったのは、大学3年生のゼミの時間ですが、FFIが発症すると、眠りたくても眠ることができずに、認知機能の低下や交感神経の過活動を伴い、半年から数年で死に至るといいます。また、日本にもFFIの家系がいるということを知り、大変衝撃を受けるとともに、眠れることは当たり前ではなく、有難いことなのだと感じたことを覚えています。

この本は、イタリアのある眠れない一族 (FFI 家系) の数世紀にわたる物語を軸に、その原因であるタンパク質「プリオン」の存在が明らかになる過程を追ったメディカルミステリーです。同時並行で同じプリオン病であるクロイツフェルト・ヤコブ病、クールー病、スクレイビー、狂牛病にも話が広がり興味深く読み進めることができます。登場する研究者の人間性や社会の動きなども読みどころです。



所属：葛飾キャンパス教養部

氏名：守田 優子

専門：スポーツ科学・睡眠学



書籍名：世界史とつなげて学ぶ 中国全史

著者名：岡本隆司

出版社名：東洋経済新報社

出版年：2019年

なぜ「中国」はそのような行動をとるのか。それを理解するためには、そこに至るまでの積み重ねやプロセス、すなわち中国の歴史的背景を把握することが不可欠である。歴史学者・岡本隆司氏の『世界史とつなげて学ぶ 中国全史』(東洋経済新報社、2019年)は、専門的知見に基づきながらも平易な語り口で書かれており、現代中国を理解するための歴史的背景を学びたい読者にとって、格好の入門書といえる。

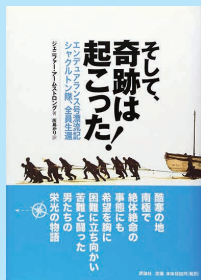
本書は、気候変動という自然的条件を軸に、黄河文明から「中華」の誕生、隋・唐の興亡、唐宋変革、世界史の分岐点としてのモンゴル帝国、現代中国の原点としての明、清朝時代の地域分立と官民乖離、国民国家への闘いが根底をなす革命の20世紀という構成となっている。そこから見えてくるのは、固定的な「中国」像ではなく、遊牧世界、イスラーム圏、近代ヨーロッパなど周辺世界との相互関係の中で、時代ごとに姿を変え続けてきた動的な歴史の姿である。



所属：葛飾キャンパス教養部

氏名：李 海燕

専門：東アジア地域研究



書籍名 : そして、奇跡は起こった！—エンデュアランス号漂流記 シャクルトン隊、全員生還  
著者名 : ジェニファー・アームストロング 灰島かり訳  
出版社名 : 評論社  
出版年 : 2000年

南極探検家のアムゼンやスコットを知っていても、シャクルトンを知る人はそう多くない。1914年シャクルトン率いる探検隊を乗せたエンデュアランス（不屈の忍耐）号は南極大陸横断を目指し極地に向かう途中で、氷の海に閉じ込められ遭難してしまう。船を失った乗組員28名はシャクルトンのリーダーシップのもと1年近く過酷な氷の世界で生き延び、一人も欠けることなく母国イギリスに生還した。船は木製でレーダーやGPSはもちろんなく、防寒着は羊毛、寝袋はトナカイの毛皮という現代人からみたら信じられない装備で、常に寒さと飢えに苦しめられながらも生きることをあきらめなかった隊員たちと、「必ず全員を生還させる」という強い信念をもったシャクルトンの姿に感動せずにはいられない。探検に同行した写真家による貴重な写真が臨場感を与えるとともに、南極自体についての解説は読み手の興味をかき立てる。ドキドキ、ワクワク、そしてリアルな感動を求める人におススメの1冊である。



所 属 : 葛飾キャンパス教養部  
氏 名 : 渡部 奈々  
専 門 : ラテンアメリカ研究、宗教社会学

## コラム：本を読み、旅に出て、そしてまた本を読もう②

### 中国天津滨海新区図書館 (Tianjin Binhai New Area Library) SNSでも話題！美しすぎる図書館 'The Evil Eye'！

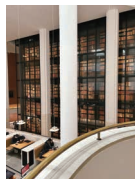
アクセス 北京から天津まで高速列車で約30分。天津駅から地下鉄で約1時間の市民広場駅で下車  
2017年に中国北部の港湾都市、天津にオープンした5階建の図書館です。波状の壁面には120万冊をこえる本が、床から天井までぎっしりと並んでいて（本の絵が描いてあるだけの場所もあるそうです）、本の波に囲まれながら読書を楽しむことができます。図書館の中心には大きな円球のオブジェがあり、楕円形の窓からはたっぷりの日差しが降り注ぎます。図書館の外側から窓の中を覗いてみるとちょうど目のように見えることから、「The Evil Eye」と呼ばれています。

### 国立国会図書館東京本館 卒論やレポートを書く時はまずここに行こう

アクセス 東京メトロ永田町駅から徒歩  
東京都千代田区永田町にある、議会図書館です。館内での閲覧のみで、本を借りて帰ることはできませんが、基本的に日本国内で出版された全ての出版物が収められているので、とにかくどんな本でも見つかります！「デジタルコレクション」などの多様なデータベースの一部は、家や大学からも見られます。

### 大英図書館 (The British Library) 毎年300万冊ずつ蔵書が増える!! 世界屈指の研究図書館

アクセス ロンドン市内地下鉄キングス・クロス(=セント・パンクラス)駅もしくはユーストン駅で下車  
ハリリー・ポッターはキングス・クロス駅の9と3/4番線からホグワーツへ行きますが、このキングス・クロス駅から3分ほど歩けば、英国国立の大英図書館にたどり着くことができます。法定納本図書館に指定されており、英国で出版された全ての出版物が納本されるため、現在1億7000万点ともいわれているその蔵書は日々増え続けています。公共図書館なので、誰でも利用することができます。カール・マルクスは大英図書館に通い続けて『資本論』を執筆したと言われています。



大英図書館の館内。中央のタワーには国王ジョージ3世のコレクション65,000冊が収められている。



書籍名：英語語源ハンドブック

著者名：唐澤一友、小塚良孝、堀田隆一

出版社名：研究社

出版年：2025年

英語の歴史は、アングロ・サクソン民族がブリテン島に到来した西暦449年に始まり、現在、英語は世界各地で事実上の国際共通語として使用されています。英単語の語源や歴史を調べる時、世界最大の英語辞典である *Oxford English Dictionary* (OED) を参照するのが通例です。しかし、英語史の専門家ではない新入生のみなさんが OED を使うのは簡単なことではありません。英単語の語源や歴史を気軽に調べたい時、『英語語源ハンドブック』(研究社)を読むことをお勧めします。東京理科大学の英語名は Tokyo University of Science ですが、この『ハンドブック』を読めば、university (pp.349-50) や science (pp.279-80) の語源や歴史的意味変化を日本語で容易に知ることができます。近年、コミュニケーション手段としての英語の重要性がますます強調されていますが、この『ハンドブック』は、英語の語源や歴史を簡便に教えてくれるので、教養として英語を学ぶ出発点として非常に有益です。



所属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏名：市川 誠

専門：英語学・英語史



書籍名：日本の近代とは何であったか—問題史的考察

著者名：三谷太一郎

出版社名：岩波書店

出版年：2017年

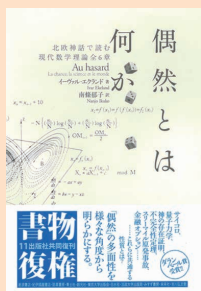
本書は日本政治史の第一人者が「日本の近代」について、「政党政治」、「資本主義」、「植民地帝国」、「天皇制」という4つの視点から本格的に考察した名著です。みなさんにとって、「政党政治」と「資本主義」は身近だと思いますが、わずか90年前の日本が「植民地帝国」だったということはイメージしにくいのではないのでしょうか。「天皇制」も当時と今日とは全く意味が異なります。本書は各章が独立した構成になっていますので、4つの視角の中で個人的に興味を持った章から読んでいくこともできます。日本の近代という近くて遠い歴史を学ぶことで、今日の日本が直面する諸課題の解決方法も見えてくると思います。日本史、特に近代史にこれまで関心がなかった人、あるいは学ぶ機会がなかった人も、ぜひ、手に取ってみてください。



所属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏名：井上 敬介

専門：日本史



書籍名：偶然とは何か：北欧神話で読む現代数学理論全6章

著者名：イーヴァル エクランド（南條郁子 訳）

出版社名：創元社

出版年：2006年

「現代数学理論」と表紙に書かれていますが、数式はほとんど登場しません。内容は、偶然、運命、予想、カオス、リスク、統計の6つのテーマに分かれていて、それぞれがサイコロやくじ、ビリヤードなどの簡単な例を使って、わかりやすく説明されています。タイトルにもある通り、本書の特徴は、各テーマが北欧神話と密接に結びつけられている点です。数学に対する哲学的な解釈、はたまた呪術や魔術に関する歴史や文学に興味がある人には、さらに楽しめる内容です。古代から中世の王朝史に沿って、偶然に基づいて決まった出来事を叙情的に描いているところも、この本のユニークな魅力のひとつです。数学の美しさや面白さを、普段とは違った視点で感じたい方におすすめの一冊です。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名：江夏 洋一

専 門：数学（解析学）



書籍名：本はどう読むか

著者名：清水幾太郎

出版社名：講談社（現代新書）

出版年：1972年

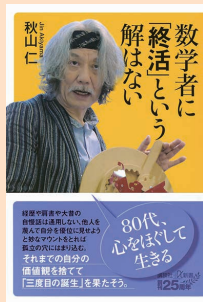
「本はどう読むか」。あまりにストレートなタイトルの本ですが、そもそも本を読むことが不得手、あるいは抵抗のある方には是非ともおすすめしたい一冊です。すでに古典の部類に入る本ですが、社会学者かつジャーナリストでもある著者の読書体験からはじまり、読んだことを忘れないための工夫のほか、洋書に慣れる方法やマスコミと読書の相関関係に至るまで、今でも色あせない本と「本気」でお付き合いする（「私は、読書というのは、書物と交際することだと信じている。」本書109頁より）ためのノウハウが網羅されています。こちらの本を手はじめに、自身のカバンのなかに一冊しのばせ、通学途中などに本との真剣交際を体験してみませんか（もちろん電子書籍でも構いません）。ちなみに当方は新鮮味もありませんが、最初に目次をしっかりと確認し、鉛筆で気になる箇所を線を引くか、付せんをはさみつつ読み進めます。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名：菅原 慶郎

専 門：歴史学・博物館学



書籍名：数学者に「終活」という解はない

著者名：秋山仁

出版社名：講談社

出版年：2025年

私は浪人時代、秋山仁先生の講義を毎週受けておりました。2025年末に出張先の神楽坂で昼食に入った店の隣の席に秋山先生がおられて驚きました。「予備校時代にお世話になりました」と話しかけたところ、「理科大教員にも教え子が多いので、神楽坂では悪いこともできない」と笑っておいででした。食事を先に終え店を出た先生は、すぐに戻ってこれ「最近、おしました」と私にくださったのが、今回、紹介する本です。先生は予備校時代、50分の講義のうち45分くらいは、人生観を語っておられました。そのころと根底にあるものは同じですが、より深みを増したお話が、この本には多く含まれております。19歳の私は、「人生とはそういうものなのかなあ？」と実感も湧かずに講義を聞いておりました。しかし、今、この本を読むと「その通りだなあ」と感じます。私も少しは成長したと思いました。40年前の私と同世代の新入生諸君に読んでいただき、40年後に答え合わせをしていただきたい本です。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名：竹内 謙

専 門：化学



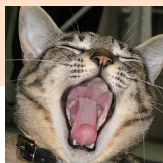
書籍名：正しいコピーのすすめ 模倣、創造、著作権と私たち

著者名：宮武久佳

出版社名：岩波書店

出版年：2017年

学生のみなさん（特に1年生）が提出したレポートを読むと、「どこかで得た情報のパッチワーク」や、根拠を示さずに「～と思います」という語尾で終わる「単なる感想文」が多いのに驚かされます。でも、大学の先生が求めているのは、ネット検索で調べたことを単に切り貼りしたレポートではなく、「自分の意見を根拠づけて主張」できているレポートです。この本では、調べてきた情報をどのように扱えば、「コピー」ではなくちゃんとした「引用」になるのか、またどのように書けば「単なる感想文」と言われずに済むのか、レポートを書くときにやってしまいがちなことについて、具体的にどのように修正したらよいか注意点を挙げてくれています。平易な文章で書かれた200ページに満たない本ですので、ぜひ一度手に取って、ページをめくってみてください。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名：田村 早苗

専 門：化学



書籍名：世界のかけら図鑑

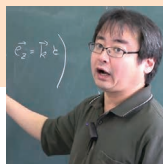
著者名：古河郁

出版社名：KADOKAWA

出版年：2024年

僕が君と同じ“理科大の新生”になったとき衝撃を受けたのは、得意だったはずの物理や数学の授業がほとんど理解できなかったことだった。がっかりし、自分には才能がないのではと鬱々と考えていた。そんな折、帰省ついでに実家近くの科学館を訪れた。子どものころ憧れたジャイロやロケット、人体模型や天体写真が、あの頃のまま展示されていた。見ると心はわずかに躍ったが、授業の難しさは変わらない。それでも、「この理論は好き」「この実験は面白い」と感じられる余裕が、いつしか戻ってきた。科学館の展示はこの世界の一部を切り抜いたものにすぎないけれど、子どものころはその“世界のかけら”一つ一つに感動していた。そのことを思い出せたのが、大きかったのだと思う。

本書『世界のかけら図鑑』には、優しい絵柄とともに74の数学・自然科学のキーワードが紹介されている。きっと君が忘れてしまった憧れのひとかけらもあるだろう。理科大で難しい学びに向き合う中、足元を見失いそうになったときは、そつと本書を開いてみてほしい。あの頃の君が、小さく手を振ってくれるはずだ。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名：橋爪 洋一郎

専 門：数理/統計物理学



書籍名：細胞を間近で見たらすごかった—奇跡のようなからだの仕組み

著者名：小倉加奈子

出版社名：筑摩書房

出版年：2025年

近年、健康や医療に対する関心が高まっており、専門分野に関係なく人体について学び、知識を身につけることが求められている。本書は、人体を構成する器官に注目して細胞のしくみと働きを解説した生物学の入門書である。

細胞レベルで何が起きているのか理解するため、読者はミクロのサイズまで小さくなって、体内を巡る「体ツアー」が始まる。著者はガイドとして、12種類の器官系を順々に案内、細胞が各器官で働いているようすをユーモラスに説明してくれる。さらに、文字だけでなく個性的な手書きイラストが随所に掲載されていて、楽しみながら読み進めることができる。

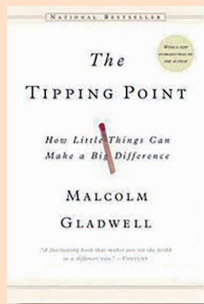
著者は病理学を専門とする医師であり、「リベラルアーツとしての医学」を教える教育の重要性を説いている。評者は生命科学系の教養科目を教えているが、著者の考え方に心から賛同する。初学者だけでなく、人体に興味のある方は、ぜひとも本書を一読することをお勧めしたい。



所 属：北海道・長万部キャンパス教養部

氏 名：橋本 茂樹

専 門：生物化学



書籍名 : The Tipping Point: How Little Things Can Make a Big Difference  
 著者名 : Malcolm Gladwell  
 出版社名 : Little, Brown and Company  
 出版年 : 2000 年

The Tipping Point, Malcolm Gladwell's masterpiece, explores "How Little Things Can Make a Big Difference." This book is packed full of witty insight, careful analysis, and the results are laid out in a creative and fun matter. The Tipping Point, penned in 2000, focuses on a variety of topics, including: fashion, crime, education, and epidemics.

Gladwell examines social phenomenon's, trends and traditional norms, and frames his findings in simple, humorous terms. One such story focuses on fashion in the mid 1990's, the shoe brand, Hush Puppies, once a tour de force in footwear, found it's brand on the brink of extinction in the mid-nineties. Gladwell takes a deep-dive and focuses on one single incident that not only reshaped the brand and brought it back from the brink of collapse, but also forced fashion leaders to reexamine how they target customers. Another topic Gladwell tackles in the book is crime; specifically, the crime New York City faced in the 1980's and 1990's. Again, Gladwell targets one single incident as a catalyst for change in the turbulent era of crime in New York City, in this case a shooting on a busy subway in 1984 that paved the way for better policing and introduced the controversial Broken Windows Theory. Gladwell has a knack for exploring small, seemingly benign events that turn into major societal shift changers.

The Tipping Point is an interesting book for students who have a natural curiosity about how society works (or doesn't work). Also, Gladwell's writing style allows the reader to imagine and rethink perceptions that were once written in stone. I hope you have a chance to get your hands on this page turner.



所 属 : 北海道・長万部キャンパス教養部  
 氏 名 : Brown David Michael  
 専 門 : 英語教育

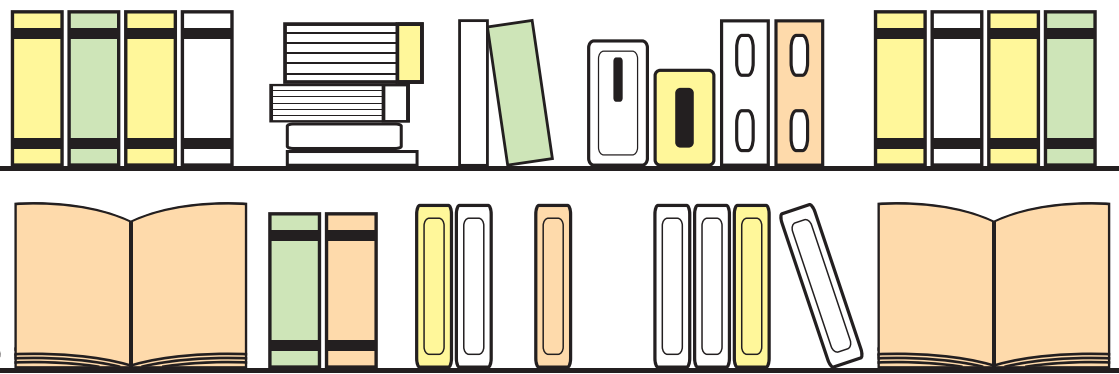


書籍名 : 論理的思考とは何か  
 著者名 : 渡邊雅子  
 出版社名 : 岩波書店  
 出版年 : 2024 年

「はい論破」—— 一方的に勝利宣言して対話を打ち切る人がいます。物事を論理的に考えられる人こそクールだと思われられるでしょう。本書はそういった「論理的思考法」を極め、「論理的に考えると……」とキメ顔をするためのハウツー本……ではありません。むしろ、そういう人にはこう言ってあげましょう。「論理的思考って1つじゃないんだぜ」と。人は何を論理的だと感じるのか——本書が展開するのは、4か国の文化を比較し、論理的思考のあり様を考察する「そもそも論」です。日本で初等・中等教育を受けてきた人々が、いわゆる「感想文」を書きがちな背景も論じられています。新入生の皆さんは、今後レポートや論文執筆の機会に直面します。そして、これまで触れてきた「論理」と大学で求められる<論理>の違いに困惑するなんてことも……。そうなる前に、ちょっと別の角度から論理について考えてみる。これはそんな目から鱗が落ちる一冊です。



所 属 : 北海道・長万部キャンパス教養部  
 氏 名 : 桑原 啓  
 専 門 : 社会学



# 教養教育研究院

Institute of Arts and Sciences

